

官報

號外

明治四十五年三月八日

金曜日

印刷局

○第二十八回 衆議院議事速記録第十七號

明治四十五年三月七日(木曜日)午後一時十三分開議

議事日程 第十六號 明治四十五年三月七日
午後一時開議

質問

- 一 教育方針ニ關スル質問(星一君提出)
- 二 清國動亂ニ關スル質問(柴四朗君提出)
- 三 官紀振肅ニ關スル質問(武田良之助君提出)
- 四 米價騰貴ニ關スル質問(武市庫本君提出)
- 五 土地増價稅ニ關スル質問(千田軍之助君提出)

第一 陸軍作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 鑛業法中改正法律案(武滿義雄君提出) 第一讀會

第四 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田泰藏君提出) 第一讀會

第五 家畜市場法中改正法律案(漆昌勝君提出) 第一讀會

第六 辯護士法改正法律案(岡田泰藏君外十一名提出) 第一讀會

第七 農工銀行法中改正法律案(船谷義三君外二名提出) 第一讀會

第八 產牛馬組合法改正法律案(高橋嘉太郎君外三名提出) 第一讀會

第九 水道條例中改正法律案(井上角五郎君外八名提出) 第一讀會

第十 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(武藤君提出) 第一讀會

第十一 高等工業學校設置ニ關スル建議案(齋藤三郎君提出) 第一讀會

第十二 石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案(齋藤三郎君提出) 第一讀會

第十三 山陰高等農林學校設置ニ關スル建議案(恒松隆慶君提出) 第一讀會

第十四 丹後鐵道建設ニ關スル建議案(岡田泰藏君外六名提出) 第一讀會

第十五 紀勢鐵道建設ニ關スル建議案(千田軍之助君外七名提出) 第一讀會

第十六 朝鮮拓殖銀行設立ニ關スル建議案(三浦寬一君提出) 第一讀會

第十七 兒童玩具製造下級工手學校設立獎勵補助金下付ニ關スル建議案(淺羽靖君提出) 第一讀會

第十八 日本刀劍鍛冶法維持ノ爲メニ刀劍師養成ニ關スル建議案(永野靜雄君外一名提出) (委員長報告)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

陸軍作業會計法中改正法律案

貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル政府提出鐵道敷設法中改正法律案明治四十五年度歲入歲出總豫算案並明治四十五年度各特別會計歲入歲出豫算案豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ヲ可決シ本院提出巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ニ對シテハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

兒童玩具製造下級工手學校設立獎勵補助金下付ニ關スル建議案

提出者 淺羽 靖君

日本刀劍鍛冶法維持ノ爲メニ刀劍師養成ニ關スル建議案

提出者 永野 靜雄君 淺羽 靖君

一 提出者ヨリ撤回ノ申出アリシ議案左ノ如シ

府縣制中改正法律案(大内暢三君外三名提出)

郡制中改正法律案(大内暢三君外三名提出)

府縣制中改正法律案(三谷軌秀君提出)

府縣制中改正法律案(川崎安之助君外二名提出)

一 藏內治郎君病氣ノ爲昨六日ヨリ二週間請暇ノ申出アリ

一 大野龜三郎君病氣ノ爲今七日ヨリ二週間請暇ノ申出アリ

一 市田兵七君病氣ノ爲今七日ヨリ八日間請暇ノ申出アリ

一 川原茂輔君病氣ノ爲今七日ヨリ二週間請暇ノ申出アリ

(左ノ報告及質問主意書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 去四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

保險業法中改正法律案

小川 平吉君 大繩 久雄君 八木 逸郎君

西谷 金藏君 柏谷 義三君 齋藤 二郎君

吉田 虎之助君 古森 泰三君 翠川 鐵三君

鈴木 辰次郎君 片岡 直溫君 武田 貞之助君

鈴木 寅彦君 藤井 善助君 淺野 陽吉君

鈴木 惣兵衛君 花井 卓藏君 加瀬 禧逸君

臘虎臘鰐獸獵禁止ニ關スル法律案外一件

阿部 德三郎君 塚田 啓太郎君 細川 義昌君

山際 敬雄君 三浦 覺一君 小寺 謙吉君

藏原 惟郭君 淺羽 靖君 小橋 榮太郎君

一 委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

治安警察法中改正法律案委員會

理事 日野 國明君

委員長 阿部 德三郎君

金名鐵道建設ニ關スル建議案外一件委員會

理事 笠川 繼孝君

委員長 米田 德君

理事 淺野 陽吉君

委員 小川 平吉君

理事 八木 逸郎君

臘虎臘脂獸獵獲禁止ニ關スル法律案外一件委員會

理事 武田 貞之助君

委員長 塚田 啓太郎君

理事 小橋 榮太郎君

一 昨六日國稅徵收法中改正ニ關スル建議案委員高柳覺太郎君病氣ノ爲辭任ニ付其補闕トシテ高木正年君ヲ金名鐵道建議ニ關スル建議案外一件委員岡井薩之丞君病氣ノ爲辭任ニ付其補闕トシテ牧野平五郎君ヲ私設運河築港ニ關スル建議案委員柏原左源太君病氣ノ爲辭任ニ付其補闕トシテ江原節君ヲ議長ニ於テ選定セリ

教育方針ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年二月二十四日

贊成者 古 森 泰 外三十五人

一 中學校入學ヨリ帝國大學卒業ニ至ル學年ヲ一年以上短縮シ得サルカ

一 現存中學校ノ數ヲ減シ之ニ換フルニ實業學校ヲ以テスル意思ナキカ

一 官立專門學校入學生ノ入學試驗ヲ改正スル必要ナキカ

一 田園生活ヲ樂ム文學書ヲ獎勵又ハ普及セシムルハ目下ノ急務ナラサルカ

右及質問候也

清國動亂ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年二月二十七日

提出者 柴 四 朗

贊成者 石田 孝吉 外五十人

一 清國動亂ニ關スル質問主意書

一 我カ北京駐在ノ伊集院公使ハ清帝退位迄君主立憲主義ヲ固執セリト聞ク事實如何

二 大總統ニ舉ケラレシ袁世凱カ南京政府ニ對シ北京ヲ去ル能ハサル理由ノ一トシテ北京ノ親王中某國ニ愚弄セラルモノアルカ爲ナリト答ヘシハ明ニ日本帝國ヲ指シタルモノナリト云フ政府ノ所見如何

三 邦人對招商局トノ借款ハ果シテ成立セシヤ其ノ經過如何

四 南滿洲ノ治安維持方策及將來ノ方針如何

五 南滿洲ノ吉長鐵道及吉會鐵道ニ對スル方針如何

六 奉天山海關ノ鐵道守備ニ對スル方針如何

七 我カ陸軍將校中ニ武昌革命軍ヨリ不當ノ金錢ヲ受領シタルモノアリト云フ實否如何

八 清國動亂以來我カ邦人中退清ノ處分ヲ受ケシ者アリヤ若之アラハ其ノ員數犯罪事項及將來ノ取締方法如何

右及質問候也

米價騰貴ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年二月二十七日

提出者 武市 庫太

贊成者 夏井 保四郎 外三十人

米價騰貴ニ關スル質問主意書

地方農民ノ生活狀態ヲ進ムルニハ農產物特ニ米穀ノ價格ヲ相當ニ維持セシムル必要アリ然レトモ亦之ヲ常用スル者ノ生活費ヲ高カラシムルハ社會ノ健全ナル發達ヲ遂クル所以ニ非サレハ農家ノ收益ハ成ルヘク現狀ヲ維持セシムル共ニ國民ノ常食物ハ現今ヨリモ低廉ニ之ヲ供給シ得ルノ政策ヲ取ル必要アリト信ス依テ次ノ五問ヲ掲ク

一 政府ハ農業改良ニ對スル低利資金供給額ヲ増ス意思ナキカ

二 政府ハ獨逸ニ於ケルカ如ク地方農村ニ共同信用銀行ヲ設ケ低利ナル資金ヲ融通セシムルコトニ付調査ヲ爲シタルコトアリヤアリトスレハ政府ノ之ニ對スル方針如何

三 國有鐵道ノ米穀運搬賃金ヲ現今ヨリモ引下クルノ餘地ナキヤ

四 政府ハ現今ノ米價ヲ以テ適當ナリトハ認メサルヤ、適當ナリトセハ之ニ對スル緩和策ヲ講スル意思アリヤ如何

五 政府ハ現今ノ米穀取引所ノ制度ヲ以テ完全ナルモノト認ムルヤ又之カ改善ノ餘地アリトハ認メサルヤ、改善ノ餘地アリトセハ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ調査シツツアリヤ又改善ノ計畫及時期如何

右及質問候也

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キ、御諮リヲ致シマス、唯今報告ノ議案撤回ニ關スル件ハ之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

○日野國明君 チョット其事ニ付テ—本員等が提出致シマシタ府縣制ノ改正郡制ノ改正ハ川崎君三谷君等ヨリ提出ニナリマシタ府縣制ノ改正案ト共ニ審査委員會ニ於テ審査中ニ政府委員ハ昨午市町村制ノ改正ニナツタ結果、府縣制等ニモ全體ニ互ツテ改正ヲ加フル必要アリト認メテ目下調査中デアル、成ベクナラバ次ノ議會ニモ其案ヲ提出シタイ考デアルト云フ言明デアリマス、ツレデ尙本員等ノ出シマシタ此部分ノ改正ニハ目下同意シ難イト云フコトデアリマス、ツレデ本員等ノ改正案ハ次ノ議會ヲ待ツコトノ出來ナイ程ニ急ヲ要スルモノデアリマセヌカラ、政府ノ其言明ニ信ヲ置キマシテ撤回スルコトニ致シタデアリマス、川崎君三谷君ノ撤回モ同様ノ理由デアルト云フコトヲ私ハ承知ヲ致シテ居ルデアリマス、本會ノ御承認ヲ仰グ次第デゴザイマス

○塚田啓太郎君 議長

○議長(大岡育造君) 塚田君ハ今ノ件デスカ

○議長(大岡育造君) サウデハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) サウデナケレバチョット御待チナサイ—議案ノ撤回ニ關シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ決シマシタ、尙唯今報告致シマシタ請願ノ件モ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ) 呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○塚田啓太郎君 此場合議長ノ許可ヲ得テ田畑地價修正ノ建議案ノ委員會ヲ開キタイト存ジマス、許可ヲ請ヒマス

○議長(大岡育造君) 如何デスカ、餘リ多數御出席モナシ譯デスカ、モウ少し後ニシテハ、折角ノコトデスカ御諮リヲ致シマスガ、此際田畑地價修正ノ委員會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 許可スベカラズト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 今少シ御待チニナッタラドウデスカ

○塚田啓太郎君 異議ガナシト云フコトデスカ……

○議長(大岡育造君) ヲレデハ之ヲ許スニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數デス、是ヨリ質問ヲ許可致シマス、星一君

(星一君登壇)

○星一君 私ハ茲ニ教育方針ニ關スル質問ニ付、其趣意ヲ辯明セントスル者デアリマス、教育ニ關スルコトハ此範圍ガ廣ウガイマスカラ詳シク申上ゲルト、多大ナル時間ヲ要シマス故ニ、極メテ簡單ニ其質問ノ要旨ヲ述ベルコト、致シマス、第一ノ質問ハ中學校ハ入學當時ヨリ帝國大學ヲ卒業スルニ至ル學年ハ現在ヨリモ二年以上短縮スルコトハ出來ナイカト云フコトデアリマス、之ニ關シテ私ハ小學校ノ教育ニ對シテモ多少ノ意見ハ持ツテ居リマスガ、是ハ他日ニ譲リマス、我中學校ノ學年ハ五箇年、高等學校ハ三年、大學校ハ學科ニ依リマシテ二年ト四年ト半トゴザイマス、之ヲ通算シマスルト都合一年ト二年ト半トナリマス、今私ハ中學校ノ入學者ノ年齡ニ就テ文部省ノ報告ヲ見マスルト、中學校ノ入學者ノ平均年齡ハ滿十四歳デゴザイマス、高等學校ノ入學者ノ平均年齡ハ二十歳、帝國大學ノ入學者ノ平均年齡ハ二十二歳ト云フコトニテ、數ヘ年二十五歳ニナツテ居リマス、是ハ少ク高過ギルト思ヒマスカラ、之ヲ短縮スルコトハ極メテ必要ナコトデ、又出來得ルコト、私ハ確信シテ居リマス、私ノ見マシタル文部省ノ報告書ニ依リマスルト、卒業者ノ年齡ヲ書イデアリマス故ニ、卒業者ノ平均年齡ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、今大學校ノ入學者ノ年齡ヲ基礎ト致シマシテ、之ニ帝國大學ノ學期ヲ通算シマスルト、落第ナシニ總テノ人ガ及第セシト假定シテモ、卒業者ノ平均年齡ハ滿二十六歳及二十七歳半ニ達シマス、數ヘ年ノ一十八歳カラ二十歳ト云フコトニナリマス、人生五十——三十二歳スル人ガ學校ヲ出ル者ニ取リマシテハ何事ヲ爲スニモ、日暮レテ道遠キ感アラント私ハ同情ニ堪ヘマセヌ次第デアリマス、學校教育ハ人生ニ取リテ萬全萬能ノモノデアラナラバ、滿二十七歳マデ學校ニ居ルコトハ厭フコトデアリマセヌケレドモ、帝國大學ヲ卒業シマシタコロデ、是ハ專門ノ奧義ヲ極メタト云フ譯ニハ參リマセヌ、未ダ專門ノ初歩ニ過ギナイノデゴザイマス、卒業後社會ニ出テ活動的社會ノ實驗ト訓練トヲ俟タナケレバ、物ニハナリマセヌノデゴザイマス、サレバ帝國大學ノ卒業者ノ平均年齡ヲ私ノ考ニハ滿二十三歳若クハ四歳位ニ短縮シテ、早ク社會ニ出シ實物の訓練ヲ受ケサセルト云フコトハ、人間精力ノ旺盛ナル青年時代ヲシテ空シク學校ニ蟄居セシメシテ、其精力ヲ最も有効ナル方法ニ消費セシムル所以デアリテ、當ニ青年者ノ幸福トスルノミナラス、社會上及國家上、有益ナルコト、思ヒマス、私ハ歐羅巴各國ノ大學校ノ卒業生ノ平均年齡ヲ詳シクハ知リマセヌ、併シ亞米利加ノ大學校——「カレッジ」ノ卒業生ノ平均年齡ハ二十一歳ト承知シテ居リマス、日本ノ大學ノ卒業生ノ年齡ヨリハ遙ニ五年モ低クナツテ居リマス、ソレニ拘ハラズ彼國デハ尙其學年ヲ短縮スベシトノ議論ガ盛行ハレテ居リマスノデ、米國ノ實業家ノ

(三)

「カーネギー」氏ナドモ頻リニ短縮論ヲ唱ヘテ、滿十八歳若クハ十九歳デ「カレッジ」ヲイフヲ卒ヘシメタイト云フコトヲ主張シテ居リマス、我國ノ實業家ノ益田孝サンガ、先年歐米漫遊後、此學年短縮論ヲ提出シタコトヲ私ハ記憶シテ居リマス、是ハ大學校ノ專門ナルモノガ尙專門ノ幼稚ナルモノデアルト云フコトガ、實業家ニ認メラレタルコト云フコトノ參考ニ供スルコトガ、出來ヤウト思ヒマス、中學校ヨリ大學校卒業マデノ間ノ年限ハ今申シテ通リ、十一年ト十二年ト半デアラカラ、ソレガ長過ぎマスル故ニ、是カラ二年又ハ三年ヲ短縮シテモ結果ガ惡クナラヌ、寧ロ宜シイコトナルダラウト私ハ確信致シマス、無論短縮スルニ於キマシテハ學科、課程ノ整理ヲシナケレバナリマセヌガ、今一々此學科目ノ問題ニ立入リマスルト長クナリマスカラ約シマスガ、今其一例ヲ舉ゲテ見マスルト、外國語ノ科目デゴザイマス、高等學校ニ於テハ外國語ヲ二ツ教ヘルコトニナツテ居リマスガ、此二ツノ外國語ノタメニ學生ハ非常ナル苦痛ヲ總テノ科目ハ之ガタメニ犧牲ニ供セラレテ居ル有様デゴザイマス、斯ル多大ナル犧牲ヲ拂フコトヲ外國語モ、大學校ニ行キマスルト一ツノ國語デ宜イト云フコトデアアル、ソレナラバ最初ヨリ一ツノ外國語ヲ通シタコトナラバ、學生ニ取ツテ非常ナ幸福ナコトデアラウト私ハ思ヒマス、何ノタメニ二ツノ外國語ガ必要カト言ヒマスルト、參考書ヲ讀ムニ必要ダト言ヒマスガ、今英、佛、獨ノ歐羅巴各國ニ於キマシテハ有名ナル著書ハ相互間ニ翻譯サレテ居リマスカラ、參考書ヲ讀ムニ一ツノ外國語デ不都合ハ決シテナイノデアリマス、ソレノミナラス日本ノ大學校ノ今日ノ教授法ヲ見マスルト、生徒ハ教授ノ講義ヲ筆記シテソレヲ鵜呑ニシテ居ルヤウナ有様デ、參考書ヲ讀ム時間ハハツツモナイノデアリマス、若シ假ニ卒業後ニ於テ參考書ヲ讀ムガ必要トアルナラバ、其必要ナル者ガ卒業後ニ於テ研究シタナラバ、ソレデ宜イ、無理ニ學校ニ於テ之ヲ一般學生ニ課スル必要ハ私ハナシト信ジテ居リマス、故ニ此二ツノ外國語ヲ廢シテ一ツノ外國語ニシタケデモ私ハ優ニ此間ノ學年二年ヲ短縮スルコトガ出來ルト信ジマス、況ヤ中學校カラ大學校ニ至ル間ノ課程ト教授法ニ改良ヲ加ヘマシタナラバ二年ハ勿論、三年モ短縮スルコトガ出來ルト信ジテ居リマス、ソレニ大學校ノ教授連ノ教授ノ方法デゴザイマスガ、日本大學ノ教授連ハ餘リニ勿體振ヲシテ居リマスガ、之ヲ廢メテ、生徒ニ完全ナル參考書ヲ作ツテヤリ、大勉強デ應值ナシニ賣却ヲシタナラバ、彼ノ法科ノ四年ナドハ必ズ二年デアラカシムルコトガ出來ルト私ハ思ヒマス、又醫科ハ四年半ニナツテ居リマスガ、實際ハ五年掛テ居リマス、學生ノ話ニ依リマスルト此教授連ガ内職ヲ廢メテ本氣ニナツテ教ヘテ與レルコトナラバ、立派ニ三年デアラカシムルコト言テ居ルノデアリマス、ソレデスカ此短縮ハ確ニ出來得ベキコト、私ハ確信シテ居リマス、又同様ニ專門學校、實業學校等ノ學年ヲ短縮スルコトガ、私ハ出來ルト信ジマス、文部省ハ將來此學年短縮ヲ爲ス方針デアラカドウカ、是ガ私ノ第一ニ聽カントスル質問ノ要點デゴザイマス、第二ノ質問ハ中學校ノ數ヲ減ジテ、之ニ換ヘルニ實業學校ヲ以テスルノ意思ガナイカト云フコトデアリマス、現在中學校ノ數ハ二百五十五ガザイマス、内六十八私立ノ學校デアリマス、公立中學校デ一番多イ縣ハ十一ガザイマス、平均六、七ニナツテ居リマス、中學校ハ男子ニ須要ナル高等普通教育ヲ爲スヲ以テ目的トシ、文部省ハ定義ヲ付ケテ居リマシテ、誠ニ結構ナトコロデアリマスケレドモ、實際我中學校ノ卒業生ノ送り場所及彼等卒業後ノ狀態ヲ觀察シマスルト、我國ノ現狀ニ照シテ中學校ノ數ガ多過ぎルト思ヒマス、之ヲ半分位ニ減シマシテ、殘リノ中學校ハ實業の知識ヲ授ケル即チ高等普通ノ實業の職業ニ從事シ得ル青年ヲ養成スル學校ニシタナラバ、當人ニ取ツテモ亦國家經濟上有益ナルコト、私ハ存ジマス、今中學校卒業生中ノ公立中學校ノ生徒卒業後ノ狀態ヲ見マスルト、四十二年度ニ於キマシテ卒業生ガ總數一萬一千七百八十八人デ、其中高等學校ニ入學シタ者ハ僅ニ八百二十八人デゴザイマス、其他ノ學校ニ入ツタ者、兵役ニ從事シタ者モアリマスガ、今職業ニ從事シタ者ヲ舉ゲテ見マスレ

バ、學校教員、是ハ重ニ小學校ノ教員デゴザイマス、是ガ千百十一人、官廳ノ職員ト
ナツモノガ二百三十五人、其他ノ職業ニ從事シタルモノガ千七百四十人、就職未定
ノモノガ四千零十四人デアリマス、諸君、驚ク勿レ、中學校生徒ノ半數ニ垂ントスルモノ
ハ職業ヲ得ルコトガ出來ズミ迷ウテ居ルデアリマス、是ハ、中學校ノ罪デハナイ、入ル者
ノ罪アルトスレバ、議論ハ盡キマスガ、生徒ニ取リテハ不幸、親達ニ取リテハ至極迷惑
ナコト、私ハ信ジマス、是レ中學校ガ高等學校ニ入ル其豫備校タル組織アルカラト私
ハ思ヒマス、高等學校ノ專門學校ノ豫備校タルナラバ、私ノ考デハ一縣ニツツ、或ハ土地ノ
形勢ニ依リテニツツモアレバツレテ十分デゴザイマス、其殘リハ成ベク其地方ノ狀態ニ鑑ミ
マシテ實業ノ教育ヲ授クル學校ニ改メナラバ、卒業生ガ此ノ如ク職業ヲ得ルニ苦シ
居ルコトハナクテ濟ムデアラウと思ヒマス、今日ノ我農村ノ疲弊ノ一原因ハ政府ガ中
校ヲ濫造シタルニ依ルト私ハ思ヒマス、無暗ニ中學校ヲ濫造シテ無暗ニ農家ノ子弟ヲ吸
收シ、農家ヲシテ子弟ノタメニ少ナカラザル資本ヲ學費ト云フ名目ノ下ニ固定セシメ、其
資本ハ今申シテ如ク就職難ノタメニ一向歸ツテ來ナイ、ツレノミナラズ更ニ債務ヲ起シテ
資本ヲ注入シナケレバ、其子供ハ鐵道往來スルカ、華嚴ノ龍ニ行カナケレバナラズト云フ
ヤウナ狀態ニアリマス、資本ノ缺乏、債務返済ノタメニ農村ノ疲弊ヲ來シテ居ル
云フコトハ、明カナ事實デゴザイマス、文部省ハ斯様ニ御考ニナツテ居ルカト云フコトヲ聽
キタイノデゴザイマス、昨年文部省ノ報告ニ依ルト私ノ論據ヲ證據立ツベキ悲シムベキ現
象ガ示サレテ居ルデアリマス、我國ノ人口中、農工商ハ大部分ヲ占メテ居ルニモ拘ラ
ズ、三十八年ヨリ此方、五年間ノ中學校入學者ノ父兄ノ職業別ヲ見マスレバ、農モ、
工モ、商モ、其入學者ノ比例ニ於テ年々減少シテ居リマス、其他ノ職業ニ於テハ増加シテ
アリマス、其他ノ職業ト云フハ軍人、官吏ニ屬スルモノデアリマス、是レ中學校ハ農商
工ノ人ニ歡迎セラレテ居ラナイト云フコトヲ示シテ居ル一ノ現象ト思ヒマス、前ニ申シタ
如ク中學校入學者ノ平均年齢ハ十四歳デ、中學校ノ課程ガ五箇年デアリマスカラ、卒
業者ハ丁年ニ達シテ居ルモノガ多數ヲ占メテ居リマス、丁年ニ達シマスレバ一廉ノ人間
デアリマスカラ、是カラ進ンデ高等教育ヲ受クルモノハ卒サ知ラズ、普通ノ者ニ取ツテハ
レ相應ニ職業ニアリ付カザルヲ得ザルニ、却テ獨立ノ職業ニ依リテ生活ヲ營ムニ不適當
ナル教育ヲ受ケテ居ルタメニ、今申シテ如ク過半數ハ就職難ニ苦シテ居ルト云フ次第
デゴザイマス、是等ノ卒業生ハ都會ニ來リ就職ヲ求メ、一年二年ト奔走シテ居リマス、
終ニハ奔走ニ疲レテ故郷ニ歸リマスルガ、親ノ家業ヲ繼續スルコトモ出來ナイ、店ニ坐ッ
テ居ルコトモ出來ナイト云フノ半生ノ「ハイカラ」ハ今ヤ地方ニ盡キシテ居ルノデゴザイ
マス、中學校ノ卒業生ノ職ヲ求ムル者ハ曰ク麵麴ヲ得ルナラバ、ドンナ處デモ宜イト云フ
コトヲ云ウテ居リマスガ、ドンナ處デモ宜イト云フコトガ、一面ニハドンナ處ニモ適サナイ
云フコトニ同ジコトデ、吾ハ中學校ノ卒業生ノ身ノ周旋方ニ困難ヲシテ居ルノデゴザイ
マス、諸君モ私ト感同ウシテ居ル者ガ多クアラウト思ヒマス、而シテ父兄ハ學校ノ不安ト
云フ念ヲ懷イテ居リマス、文部省ノ方針ニ大不滿ヲ表スル現象ヲ呈シテ居ルコトハ明
カナコトデアリマス、文部省ハ是等ノ現象ヲ御存ジデアラウカドウカ、我日本デハ商工ガ
振ハナイト云ヒマスケレドモ、是ハ無理ノナイコト、思ヒマス、日本ノ現在ノ文部省ノ教
育ハ重ニ机上ノ書キ物ヲスルコトヲ澤山作リマス、實業ノ教育アル、所謂高
等勞働者ヲ造ツテ居ラスカラデアラウト思ヒマス、我日本ノ帝國大學ハ國費ヲ以テ官吏
ヲ養成スルコトヲ學校デアリマス、中學校ハ其官吏ヲ養成スルコトヲ豫備校ノ豫備
校デアリマス、文部省ハ官吏ヲ養成スルコトヲ以テ教育ノ本旨ト思ウテ居ルノデゴザイ
モウカ、然リトモ我青年ハ官吏養成ノ傍校ヲ喰ツテ居ルヤウナモノデゴザイマス、我國ハ
英米ノ風習ニ反シマス、子孫ニ金錢財產ヲ讓ルコトヲ風習ガアリマスケレドモ、我地方
ノ農村、愛國、犧牲、の重税ノ下ニ子女ニ讓ルベキ財產ガ缺ケツ、ゴザイマス、又日

夜勤勉シテ讓ルベキ財產ヲ蓄積セントシテモ、其額ガ知レテ居ルカラ、セメテハ獨立自營ノ
素養アルベキコトヲ教育ヲ授ケテ以テ此財產相續ニ代ヘントシテ居リマスケレドモ、今
申上ゲタ如ク教育制度ノ不備ノタメニ農民ハ大ナル失望ヲ來シテ居ルノデゴザイマス、故
ニ私ノ思フニハ中學校ヲ半減シテモ政府ノ希望スルコトヲ官吏養成ノ目的モ達シ得ラ
レマス、又專門學校、實業學校ニ入ル者ニ取リテ十分デアルト思ヒマス、殘リノ半
學術技藝ノ教育ヲ授クル、即チ高等普通ノ實業ノ常識ニ富ム、獨立自營ノ人ヲ作
ルヤウニサレタナラバ、如何ニ父母タル者ノ喜ビハ勿論、又當人ノ利益ト思ヒマス、中
校ヲ整理ノ時代ハ既ニ到著シテ居リマス、政府ハ斯方針ヲ採ルガアルカ無イカト云フ
ト私ハ第一ニ聽カントスルコトヲデゴザイマス、第二ノ質問ハ官立專門學校入學生ノ入
學試驗ニ變更ヲ加フル意思ガナイカト云フコトヲデゴザイマス、私ガ此處ニ云フ專門學校
ト云フハ文部省ノ所謂實業學校モ含メテ居ルノデゴザイマス、醫學專門學校入學生
願者百人ニ對シテ、僅ニ十四人ヲ入學セシメテ居ル處ガゴザイマス、多イ處デ二十人
デアリマス、醫學專門學校ハ姑ク措キマシテ、我國ハ未ダ農ガ主腦デアリマス、盛岡
高等農林學校ノ入學者ガ百人ニ對シテ農林科僅ニ十六人デゴザイマス、林學科二十
七人、獸醫科二十人デゴザイマス、鹿兒島ノ方モ殆ト同様ノ比例ヲ示シテ居リマス、東
京ノ高等商業學校ノ入學者ガ百人ニ對シテ去ル五箇年ノ統計ヲ見マス、僅ニ二十
四人デゴザイマス、商業教育ヲ授クル實業學校ニ於テ此ノ如ク志願者ノ四分ノ三ヲ拒
絶シテ居ルノデゴザイマス、故ニ商業學校ノ入學者ノ平均年齢ハ二十歳ト云フ高イ年齡
ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、此高等商業學校ハ豫科ガ一年、本科三年デゴザイマス、
卒業生ノ平均年齢ハ二十四歳以上ニナツテ居ルコトハ確定デゴザイマス、領事官養成
所トシテハ宜イカ知ラズガ、會社ヤ商店ノハトスルニハ私ハ年齡ガ高過ギテ居ラウト思
マス、此東京高等工業學校ノ入學志願者百人ニ對シテ二十人デゴザイマス、大阪ノ
方ハ三十人、又東京高等工業學校附屬職工徒弟學校ノ如キ最モ必要ナル學校ニ於
テスラ志願者百人ニ對シテ二十九人ヲ入レテ居ルノニ過ギナイノデゴザイマス、此處ニマ
ダ參考トシテ申上ゲマスガ、高等學校ノ入學志願者ト入學者ト數デゴザイマス、其
例トシテ東京ノ高等學校ノ入學志願者ハ僅ニ二百六十七人デゴザイマス、百人ニ對
シテ二十九人デゴザイマス、内入學者ハ僅ニ二百六十七人デゴザイマス、百人ニ對
シテ十六人餘デゴザイマス、殊ニ甚シキハ此高等學校ノ第三部ニ於キマシテハ入學志願
者六百十五人ニ對シテ僅ニ六十五人ヲ入學セシメテ居ルノデゴザイマス、此ノ如キ學
生ノ學力ノ足ラナイカラデアラルコト云ヘバ、決シテサウデナイ、チャント文部省ノ監督ノ下ニ
是等ノ學校ニ入學スベキ資格アルコト云ヘバ、決シテサウデナイ、チャント文部省ノ監督ノ下ニ
ヘテ居ルモノデアリマス、ツレニモ拘ラズ滿員札ヲ以テ斯ク多數ヲ拒絕シテ居ルノデゴザイ
マス、文部省ハ一方デハ教育ヲ々々ト言ヒマシテ、先祖代々ノ財產モ賣拂ヒ、親類ノ財產ヲ
質入抵當ニスルマデハ獎勵シテ置キナガラ、一方ニ於テハ斯ク資格アルコトヲ學生ヲ斯
ク多數拒絕シテ居ルデアリマセヌカ（ヒヤ）、拍手スル者アリ、若モ專門學校、實業
學校ノ卒業生ヲ政府ガ卒業後直ニ採用シテ父母兄弟妻子ヲ養フニ十分ナルコトヲ
俸給ヲ一生涯供給スルコトヲ云フコトデアラナラバ、斯ク入學者ニ制限ヲ置クノモ必要
デゴザイマスケレドモ、政府ハ卒業シタル學生ニハ何等責任ハ持ツテ居リマセヌ、單ニ商業
實業ノ教育ヲ受ケタコトヲモノラ多數作リタイト云フ趣意デアラナラバ、此ノ如ク多數
ヲ拒絕スルコトヲセズシテ、何等カノ方法ヲ以テ之ヲ入學セシメルコトガ出來ヤウト私ハ
思ウテ居リマス、今マデ申上ゲタヤウナ教育ヲ施シテ居リマスカラ父兄カラハ學校不安
ト云フ念ヲ抱カシテ居リマス、延イテハ文部省ノ不信任トナリ、遂ニハ教育亡國論ト
云フヤウナ極端ナル論ヲ持出ス人ガ出テ來ハセヌカト心配シテ居ルノデゴザイマス、現在
ノ我學生ノ狀態ヨリ、而シテ學生ガ文部省ノ方針ノ惡ルイタメニ被リタルコトヲ父兄

ノ損害ヨリ鑑ミテ見マスレバ、文部省ハ私ヲ以テ言ハセレバ、極端カハ知リマセヌガ、未成「ハイカラ」製造所、破産人製造所、不良青年鐵道往生「モルヒネ」往生、親不孝、兄弟泣カセ、友人害メ、借金仕入所ト云フヤウナモノデアル、若シ新刑法ノ精神ヲ以テ論ジマスレバ、文部省ハ罪ヲ犯シタモノデ、尙現ニ犯罪ヲ繼續シツ、アルト私ハ言フテモ宜カラウト思フ（ヒヤ／＼）我邦ノ入學方法ハ餘リニ學術ニ重キヲ置イテ居リマシテ、入學者ニ取ッテハ丁度富饒ヲ引クヤウナ有様デゴザイマス、獨逸ニ於テハ我日本ト程度ヲ同ウシテ居ルコロノ專門學校、實業學校ニ入學スルモノハ單ニ學力ノミニ依ラズシテ、二年以上工場及商店ニ奉公シテ居タト云フコトヲ條件トシテ入學セシメテ居ル處ガゴザイマス、是ハ私ハ非常ナ結構ナコトデアラウト思ヒマス、我日本ニ於テモ陸海軍ハ是ト同様ナル方針ヲ執リテ居リマス、士官學校ヲ卒業シマシテ、サウシテ二年、三年實地ヲ研究シタモノヲ陸軍大學校ハ入レテ居リマス、此結果我陸海軍ハ我國民ノ尊敬ヲ受ケルト共ニ、世界ノ尊敬ヲ受ケテ居ル次第デゴザイマス、斯ル方法ヲ採用スルコトハ非常ニ私ハ有益ナルコト、思ヒマス、私ハ政府ニ對シテ此滿員札ヲ撤去スルカ、或ハ滿員札ヲモウ少シ小サナルモノニスルカ、或ハ今申シマシヤウナ入學方法ヲ取リマスカ、ドウカト云フコトヲ政府ニ御伺シタイノデゴザイマス、第四——最後ノ質問ハ田園生活ヲ樂ムベキ文書ノ獎勵、又ハ普及セシメル意思ナキカト云フコトデゴザイマスガ、諸君ヨ、田舎ハ日々寂レテ來マシテ、都會ハ非常ナル長足ノ進歩ヲ以テ繁昌シツ、アリマス、都會ノ繁昌ハ決シテ惡レイト云フノデハゴザイマセヌガ、田舎ノ衰頹ハ大ニ悲マザルヲ得ザルコト、思ヒマス、丁度之ヲ譬ヘテ見マスレバ胃擴張ノ人ノ如ク、手ヤ足ハ消セテ、胃バカリ膨脹シテ居ルガ如キデゴザイマシテ、決シテ健全ナル發達ト見ルコトハ出來ナイ「カセーシ」フイニシヤ「繁昌」ハ一時ノ夢、健全ナル國民ハ健全ナル地方ニ依ツテ永續セラル、モノト私ハ確信致シマス、故ニ我國ノ現象ハ當局者ハ無論、國家ヲ憂フルモノ、憂トスルコロデアラウト思ヒマス、歐羅巴諸國ニ於テモ一度ハ此現象ニ遭遇シテ居リマシテ、政府ハ地方ノ挽回策ニ大ニ努メマシタコトハ諸君モ御承知ノコトデゴザイマス、彼ノ獨逸ノ如キ數億萬馬克ノ金ヲ國庫ガ支出シマシテ、都會ノ人ヲ田舎ニ後戻リスルトコロノ所謂內國殖民政策ヲ行タコト、又現ニ行ヒツ、アルコトハ諸君ノ御承知デアラウト私ハ思フ、故ニ政府ハ今ニ於テソレニ鑑ミルトコロガナケレバ、斯ル必要ヲ見ルコトハ必然ナコトデアラウト思ヒマス、此ニ於テ文部省ニ向ッテ田園生活ノ教育及文書ノ獎勵ヲ求ムル所以デゴザイマス、我邦ニハ古來田園生活ノ教育ガ足ラナイ、殆ドナイト云ツデモ宜イノデゴザイマス、又此田園生活ヲ樂ムトコロノ文書ニモ極メテ乏シイノデゴザイマス、書籍バカリデアアリマセヌ、吾々ハ芝居ヲ觀マシテモ斯様ナコトハ極メテ少ナイ、最近流行シテ居ルトコロノ活動寫眞ヲ見マシテモ斯ウ云フモノハ求ムルコトガ出來ナイノデゴザイマス、故ニ我國民ハ此田園生活ヲ爲スノニ甚ダ不適當ナル國民トナッテ居ルノデアアル、北海道移民ハ政府ノ獎勵ガアリマスケレドモ、思フヤウニハナッテ居リマセヌ、臺灣、朝鮮又其通リデゴザイマス遠ク海外ニ出ルトコロノモノハ日本ノ國ヲ去ルニ先立ツテ、歸國ヲスルコトヲモウ計算シテ居ルヤウナ有様デゴザイマス、彼ノ英國ノ人ハ不毛ノ地ヲ開拓シ、母國ノ發展ニ供スルモノハ英國ノ教育ガ與テ力アルコトデゴザイマス、外國ニハ田園生活ト云フコトニ適ウタルコロノ教育ガナカ／＼盛デ、書籍モナカ／＼多イノデゴザイマス、又現ニ是等ノ書籍ハ續々トシテ出テ居ル、七八年前ノコトデゴザイマスガ、我國ノ前大統領「ロースベルト」ノ書イタ書物ノ中ニモ淋シキ生活ヲ送リツ、西部ノ方ヲ開拓シタルコロノ「ルースベルト」ニ依リテ初メテ名ヲ知ラレタヤウナ小サナ人ヲ極メテ稱讃シツ、極メテ尊敬ヲ拂ッテ書イテアリマス、我國ノ青年ハ斯ル書物ニ依リテ受クルコトコロノ感化ハ非常ニ大ナルモノデアアルト思ヒマス、外國ノ社會黨ハ私ハ知リマセヌガ、日本ノ社會黨ハ私ノ見ルトコロデハ都會生活ノ仲間入りヲスルコトガ出來ナクテ、不平ノ餘リニ起ツタヤウニ

思ハレマス、彼等ガ社會黨ニ入ラントスル際ハ丁度四ツ辻ニ立ッテ迷ウテ居ルヤウナモノデアリマス、誰カ人ガアッテ後ヨリ彼ノ肩ヲ叩イテ、汝ノ進路ハ右ノ田畑ナリ、廣原ナリ、深山ナリト指示シタラバ、彼等ハ確カニ善良ナル田園生活ノ人トナツタノデアリマセウ、不幸ニシテ彼ヲ田園生活ニ導クコトコロノ人モナシ、書物モナシ、遂ニ淫靡タル都會生活ニ入リマシテ、生活ノ競争上不平ヲ抱キ、遂ニ社會ノ秩序ヲ亂スヤウニナツタノデアリマス、春秋ノ論法ヲ以テ之ヲ論ジマスレバ、其罪ハ田園生活ヲ教育セザル及獎勵セザルコトノ文部省ニアリト云フコトヲ思ヒマス、地方ニ於テ教育セラレタルコロノ若キ男女ハ都會生活ヲ好ミマシテ、都會ニ參ッテ來マス、都會ニ戀ケタル其有様恰モ發狂人ノヤウナモノデゴザイマス、又地方ニ還サレシコトヲ恐レテ自殺スル者アラルノデゴザイマス、教育ヲ受ケタルコロノ子弟ハ父祖ノ業ヲ繼續スルコトヲ厭ヒ、地方ヲ去リ、職業ヲ求ムルト云フ口實ノ下ニ都會ニ出テ來マシテ、放浪生活ヲ爲シテ居リマス、尙且其放浪生活費ヲ父母ニ供給スルコトヲ居ルノデゴザイマス、是レ我國ノ教育ノ制度ハ自ラ獨立ノ地位ヲ造リ、自ラ修メントスルコトコロノ人士ヲ養成スルニ適シテ居ナイノデアリマス、撓マザルトコロノ勤勉ヨリハ寧ロ嚙リ附ニ依ッテ進級スルコトコロノ据騰ノ主義ノ地位ヲ希望スルノ弊風ヲ増長セシメタルニハ因ルト雖モ、又此田園生活ヲ樂ムトコロノ文書ノ乏シキニ在ルト云フコトガ原因デアルト思ヒマス、文部省ハ通俗教育會又ハ文藝院ニ於テ選擇スルトコロノ書物ニハ非常注意ヲ拂ハレシコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス、是レ我現狀ニ照シテ此必要ヲ私ハ認ムルノデゴザイマス、最後ニ於テ——是デ私ノ質問ガ了リマシタガ、最後ニ於テ日本ノ各省中デ一番改良ヲ要スル處ハ、私ハ文部省ト思ヒマス、文部省ハ學者ノ寄合所デ、口ノ中ハカリガ多イノデゴザイマスカラ、此學部制改革、學校整理ノ時代ハ既ニ到リシテ居ルニモ拘ラズ、未ダスルコトガ出來ナイノデゴザイマス、私ガ以上質問ニ及ンダコトハ國家緊要ノ問題デアリマス——現文部大臣ハ是マデノ大臣ト違ヒマシテ學問ニ擔ヒサレタ人デアリマセヌ、學問ノ奴隸者デハナイ、苦心經營ノ人デアリマス、私ハ現文部大臣ガ私ノ質問ニ對シテ満足ナル答辯ヲ與ヘルコトヲ確信シマシテ、文部大臣ニ敬意ヲ表シマス（拍手スル者アリ）

○文部大臣（長谷場純孝君） 議長

○議長（大岡育造君） 長谷場文部大臣

（文部大臣長谷場純孝君登壇）

○文部大臣（長谷場純孝君） 唯今星君ノ御質問ハ四箇條ニ別レテ居リマス、今御說明ニ依ッテ理由ヲ詳カナルコトヲ承リマシタ、是ハ事ノ關係スルトコロ廣汎ナルヲ以テ、イッレ後日書面ヲ以テ御答ヲ致スコトニ致シマス

○塚田啓太郎君 唯今ヨリ地價修正ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、許可ヲ願ヒタイ

○議長（大岡育造君） 塚田啓太郎君ガ是ヨリ地價修正ノ委員會ヲ開カントスル御希望デアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼ブ者アリ）

○議長（大岡育造君） 御異議ハナイト認メマス、尙八木君ヨリモ御請求ガアリマス、許スコトニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼ブ者アリ）

○議長（大岡育造君） 御異議ハアリマセヌケレバ許可致シマス——質問ノ第二、清國動亂ニ關スル質問—— 柴四期君

（柴四期君登壇）

○柴四期君 諸君、私ハ清國動亂ニ關スル質問趣意書ヲ提出致シマシタ、而シテ逐條ノ說明ニ先チマシテ提出ノ理由ヲ簡單ニ說明致シマスルカラ暫時御清聴ヲ續シマス

(長クテハ困ル、暫時ナラ宜イ下呼フ者アリ)元來我輩ハ常ニ内治ヨリモ外交ニ重キヲ置キマス、故ニ一朝不幸ニシテ外患アルノ日ハ上下一致シテ禍ヲ轉ジテ福ヒト爲スノ策ヲ講ジナケレバナラヌト云フ意見ヲ懷抱シテ居ル者アリマス、此故ニ清國ノ觀察ニ先チマシテ外務大臣並ニ陸軍大臣等ヲ歴訪致シマシテ、吾々ガ運奉スルコロノ教ヲ受クルコトガ出來ルナラ、御高見ヲ拜聴致シタイ、是ハ私ガ渡清後ニ吾々ノ言語並ニ舉動ガ日本ノ外交方針ト背馳セザランコトヲ努メヤウト云フ外ナラヌデアリマス、然ルニ政府ニ於テハ未ダ統一セラレタコロノ確乎タル對清方針ノ定マラザリシカ、或ハ私ノ信用ノ薄イタメカ、日清戰爭ノトキニ私ガ渡航前ニ陸奥、川上或ハ北清事件ノトキニ青木、寺内、日露戰爭ノトキニ桂、兒玉諸公ニ吾々ガ反對派ニモ拘ラス、能ク當時胸襟ヲ披イテ、即チ外交ノ方針ハ斯ウキデアルト云フ眼目ニ付テハ教ヲ拜聴スルコトガ出來タノデアリマス、然ルニ今回ハ此ノ如キ教ヲ奉ズルコトガ出來ナカッノハ、甚ダ遺憾スルコトデアリマス、故ニ渡航後内外人カラシテ日本ノ外交ノ方針孰ニ在ルカト云フ質問ヲ受ケマシテモ、私ガ之ニ答ヘルコトノ意見ヲ有セナカッノデアリマス、我輩ノミナラズ清國ニ在ルトコロノ外交官、軍人、實業家、有志家モ各、政府ノ方針ノ如何ニ在スルカト云フコトニ付テハ疑ヲ抱イテ居テ、各自散漫シテ其好ムトコロニ依リテ行動ヲサレタハナイカト云フ疑ヲ持ッテ歸リタデアリマス、歸リマシテモ尙其疑ヲ氷解シマセヌ故ニ、今日此質問書ヲ提出シタデアリマス、是ヨリ逐條ノ説明ヲ致シマス、一我北京駐在ノ伊集院公使ハ清帝退位マテ君主立憲主義ヲ固守セリト聞ク事實如何、私ガ北京ニ參リマシタトキニ最モ彼地ニ於テ外交ニ有力ナル人カラシテ貴國ノ公使ハ清帝退位ノ時日ノ迫リ、竝ニ閣員ノ人選マデモ殆ド決定シタ今日ニ於テ、尙君主立憲主義ヲ固執セラルト、其事實如何ト云フコトヲ質問ヲ受ケマシタ、私ハ此事實ハ勿論存ジマセヌ、併ナガラ伊集院公使ガ君主立憲主義ヲ主張サレタト云フ事實ハ、私ハ信ズベキ理由ガアルト考ヘルデアリマス、惟フニ我政府ニ於テハ初メ君主立憲主義ヲ訓令サレタノヲ、中途ニシテ其事ヲ曖昧ノ裡ニ葬ラントシタルヲ、伊集院公使ハ曩ノ主張ニ對シテ之ヲ撤回スル機會ヲ失シテ、此ノ如ク孤立無援ノ苦境ニ陥ラレタノデナイカト考ヘルデアリマス、此ノ如クデアリマスレバ吾々ハ一片同情ノ念ニ堪ヘナイデアリマス、又現内閣ヲ辯護セント云フ人ノ如キハ、君主立憲主義ナルモノハ共和政治ヲ嫌惡スル一二元老ノ指金デアル故ニ、現内閣ニ於テハ此君主立憲主義ト云フコトヲ嚴格ニ固持スル念ガナカッ、斯ウ云フコトヲ申スデアリマス、併ナガラ是ハ現内閣ヲ侮辱シタモノデアラウト私ハ考ヘルデアリマス、總理大臣西園寺侯ガ會テ元老ニ政治ヲ諮ル云々ト云フ答辯ヲ致サレタコトガアリマス、元老ニ事ヲ諮ル、怪シカラヌコトデアアル、此ノ如ク解釋致シマシテ宜シウゴザイマス、私ハ豈啻ニ元老ノミナランヤ、苟モ國家ノ事ニ付、其人ハ問フベキ人デアルト云ヘバ、所謂網ヲ暴ス漁夫、鐵ヲ擔フ農夫ニモオヤデアアル、國家ノ事ハ私ハ随分問フ、而シテ其結果タル責任ハ無論憲法ニ依リマシテ、不肖ナガラ總理ノ職ヲ辱メテ居ル以上ハ私ハ持テ居ル云々實ニ立憲政治ノ總理大臣トシテ堂々タル御演說トシテ、當時覺ズ襟ヲ正ウシテ拜聴シマシタ語尙耳ニ存シテ居リマス、惟フニ外務大臣ハ人格高尚デ居ラレラカ此事ニ付テハ飽マデモ責任ヲ負フコト、信ズルデアリマス、第二「大總統ニ舉ケラレシ袁世凱カ南京政府ニ對シ北京ヲ去ル能ハサル理由ノ一トシテ北京ノ親王中某國ニ愚弄セラルモノアルカ爲ナリト答ヘシハ明ニ日本帝國ヲ指シタルモノナリト云フ政府ノ所見如何」私ガ南清ニ居リマシタトキニ兩政府ノ秘密文書ガ手ニ入ッタコトガアリマス、其中ニ「要領ヲ云ハヌトイカスゾ」ト呼フ者アリ「外交問題デアリマスカラ暫時御清聴ヲ煩ハシマス」(外交問題ナラ秘密ニヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ「其中ニ時局ノ最大困難ナル清皇ノ退位竝ニ共和ノコトニ付テ幾ド其事ガ決定スルニ垂ントシテアルニ、日本ガ陰ニ反對運動ヲスルガタメニ事實紛糾シテ此事ガ成功シナイト云フコトガアルデアリマス、私ハ是ハ袁世凱ガ

罪ヲ他人ニ嫁シテ自分ノ責任ヲ通レルモノト信ジタデアリマス、然ルニ今回又此ノ如キ暴言ヲ聞クニ及ンデハ是ハ既ニ事實然ルコトデアアルカト考ヘタデアリマス、蓋聞クトコロニ依レバ恭親王ガ宗室會議ガアリマシテ慶親王ヲ詰責シ、袁世凱ヲ罵倒サレタ、其時ニ日本ノ守備隊ガ行軍シマシタ、而シテ休憩シマシタ、其屋敷ハ恭親王ノ附近デアルト云フコトヲ知ッテ、ソコデ敬意ヲ表シタコトガアルサウデアリマス、之ヲ神經過敏ナル袁世凱ガ日本ガ恭親王ヲ殺唆シタモノト云フ疑ヲ起シタト云フコトモアリマス、又肅親王ガ滿洲ニ病氣保養ノタメニ行カレタトキニ、何者カ滿洲ニ肅親王ガ行カレタコトヲ猜疑ノ眼ヲ以テ觀テ、而シテ其出立サレタ其晩ニ支那人ガ警備スルコトノ其區域内ノ鐵橋ヲ爆裂セシメ、僅ニ肅親王ハ危害ヲ免レテ而シテ或ル者ノ保護ニ依ッテ或軍艦ニ依ッテ滿洲ニ行カレタト云フコトガアルサウデアリマス、是等ノコトヲ以テ若シ愚弄シタリト云フデアリマスレバ、人ノ孤兒、寡婦ヲ欺キ、親王ヲ愚弄シ、世人ヲ翻弄シ、自分ノ腹心タルコロノ大兵ヲ放ッテ白晝公然掠奪ヲ恣ニ、人ヲ殺ス、此ノ如キコトヲ、吾々ハ人ヲ愚弄シタル舉動ニシテ之ヲ責ムベキ十分ノコトガアルト考ヘルデアリマス、此ノ如ク此袁世凱ヲシテ侮蔑ノ言ヲ發セシメタルニ付テハ、政府ノ威信ニ關係スルコトナキカ、此明答ヲ煩ハスデアリマス、三「邦人對招商局トノ借款ハ果シテ成立セシヤ其經過如何」清國動亂以來我貿易ガ多大ノ打撃ヲ受ケマシタ故ニ、禍ヲ轉ジテ福ヒトナスノ策ヲ講ジナケレバナラヌト云フ秋ニ當リマシテ、幸ニ南京政府ヨリシテ招商局ヲ抵當シテ借款ノ申出ガアルデアリマス、其時ノ南京政府ノ窮乏ハ其極ニ達シマシタ、私ガ南京ニ居リマシタトキデモ若シ多少ノ金ガ出來テ、兵士ノ俸給ニ拂フコトガ出來得ヌナラバ、則チ支那ノ正月ニハ南京ニ大動亂ガ起ルト云フコトヲ警告シテ居ッタデアリマス、故ニ若シ此借款ガ成立チマシテ彼ノ窮乏ハ、竝ニ兩國ノ意思ガ疏通シタナラバ、他日南清ニ於ケルトコロノ我貿易ノ發展ニ非常ナル影響ヲ得ルコトデアラウト考ヘマス、當時恰モ此事決シマシタトキニハ孫逸仙ノ所ヘ私モ兩三名ト列シタコトモアリマス、而シテ上海ニ歸リマシタトキニハソレガ尙一步進デ、此招商局ノ株券ヲ日本ニ賣ルト云フ論ガ起ッタデアリマス、ソレデ私ノ考ヘマシタハ、曾テ英國テ蘇士運河ノ株金五千萬圓ヲ臨時内閣會議ノ一夜ノ中ニ決定シ、之ヲ明日ノ議場ニ報告シテ、而シテ反對黨ヲシテ覺エズ拍手セシメタ、其五千萬圓ハ五億ノ價值ヲ生ジ、佛國ヲシテ茫然自失、策ヲ施スナカラシメ、今日英國ガ埃及ノ優越權ヲ得タハ此過半數ノ株券ヲ買收シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、必ズ政府デモ此ノ如キ處置ニ出デラル、デアラウト云フ希望ヲ以テ私ハ上海ヲ去リマシタ、後ニ聞クトコロニ依リマスレバ日本ノ元老間ニイロク異論ガ起リ、財團ノ間ニ猜疑ガ起リ、其中ニ英國ノ知ルトコロナッテ英國ノ抗議ガ起リ、財團ノ間ニシテ此英國ノ百五十萬圓先ニ貸シタト云フコトニ付テ、日本ノ抗議シタト云フコトハ内容ハ私ノ聞キマシタトコロデ、日本ガ若シ此借款ニ出シタナラバ、其金ハ革命黨ニ往ク、故ニ今日全ク嚴正中立ノ時代デアルト云フコトヲ言ハレタヤウニ外國ニ於テ聞キマシタ、併ナガラ彼地ニ於テ聞クトコロニ依リマスレバ、英國ハ百五十萬圓ノ五十萬ト云フモノハ確ニ革命黨ノ手ニ入ッタト云フコトヲ私ハ聞イテ居ルデアリマス、此事ガ果シテ然ルヤ否ヤ、私ハ存ジマセヌ、其中ニ袁世凱ノ知ルトコロナッテ此金ヲ南京政府ニ日本ヨリ貸シタナラバ、由々シキ大事デアルト云ウテ大妨害ガ起ッタト云フコトモ聞イテ居リマス、又日本デモ密ニ聞クトコロニ依レバ遞信省、大藏省、外務省等ノ意見ガ一致シナカッタト云フコトモ聞イテ居リマス、此事ガ今ハ如何デアルカ、御質問致スデアリマス、尙此質問ヲ提出致シマシタ後ニ今ノ「チャイナプレス」ノ北京通信ニ依リマスレバ、袁世凱ハ日本ノ伊集院公使ニ招商局等ノ借款ニ異議ヲ申出タルニ、公使ハ確乎タル政府ノ成立スルニ至ルマデ日本政府ハ其臣民ヲシテ清國ニ於ケル何等借款契約ヲ締結スルコトヲ許サル主旨ナリト回答シ云々、是ガ果シテ事實デアリマシタナラバ、政府ガ曩ニ南

清ニ於テ借款問題ニ疊々援ヲ與ヘラレタ意思ハ如何ナルモデアリマス、又昨今問題ニ上テ居リマス四國借款或ハ五國借款ニ對シテ政府ハ確乎タル清國ノ政府ガ成立シ共和政治ヲ承認セラレタモノデアリマス、尙此四國或ハ五國借款ノ如キ日本ガ之ニ加入シ能フヤ否ヤト云フコトモ序ニ御說明ヲ煩ハシタクアリマス、四、南滿洲ノ治安維持方策及將來ノ方針如何、南滿洲ハ日露戰爭ノ結果列國ニ機會均等主義ノ外ハ政治上、軍事上優越ナル特殊ノ權利ヲ有シテ居ルコトハ今更喋々ヲ要サナイデアリマス、殊ニ日露ノ協約ヲ重メシタ以來、其地歩ハ更ニ一層ノ鞏固ナル基礎ノ上ニ立テラレタコトナリ、又軍港モアリマス、外ニ有力ナル艦隊ノ遊弋シテ居ルモアリマス、又平時ニ不用視セラレタコロノ關東都督府モ置カレテ居ルデアリマス、然レニ何ゾ圖ラシテ南方ニ於テ革命黨ノ起ルヤ、我關東州並ニ在滿ノ邦人ハ革命黨ニ力ヲ添ヘタノデアリカト云フ疑ガアルデアリマス、故ニ不逞ノ徒ガ横行シテ遼陽ニ於テ我士官ガ白晝狙撃サレタコトモアリマス、又此頃本溪湖ニ於テ邦人二名ガ革命黨ト誤解サレテ殺害サレタ事實モアリマス、遂ニ此事ハ奉天ニモ鐵嶺ニモ及シテデアリマス、革命黨ト稱スルモノハ既ニ中立地帯ニ上陸シテ、蓋平附近ノ我鐵道ヲ脅シタコトガアリマス、大孤山ニ上陸シテ革命黨ハ安奉線ヲ脅シタコトモアルデアリマス、私ハ二月十日奉天ニ參リマシテ、日本ノ領事館ヲ訪問致シマシタトキ、關東都督府ノ藍天蔚ト云フモノガ書留郵便ヲ以テ日本人ガ明日ノ午後四時ヲ期シテ退去スルニアラザレバ、日本人ノ生命財產ハ其責ニ任ゼズト云フコトヲ通知シタデアリマス、私ハ此ノ如ク滑稽ナルコトハ齒牙ニ掛ケルコトデアリト考ヘテ居リマス、何ゾ圖ラン其明晚ニ於テ非常ナル動亂ガ起ラントシタデアリマス、是ハ東三省ノ總督ノ家ニ居ルコロノ人ガ來テ話ヲ致シマシタガ、昨晚日本人ト稱スルモノガ驍勇運轉スルコロノ兵隊ニ五千圓、張作霖ノ一營ニ五千圓ヲ與ヘ、サウシテ城外ニ誘キ出シテ大叛亂ヲ企テントシ、漸ク事前ニ押ヘタト云フコトヲ申シタデアリマス、私ハ是ハ斷然日本人デナ、即チ洋服ヲ著ケ、髮ヲ斬ツタ革命黨ガ日本人ト稱シテ此ノ如キコトヲアルデアリマス、斷然日本人デナ、即チ洋服ヲ著ケ、髮ヲ斬ツタ革命黨ガ日本人ト稱シテ此ノ如キコトヲアルデアリマス、併ナガラ初メ日本ハ其取締ヲ放漫ニサレテ、我居留地ニ革命黨其他ガ徘徊シ、後ニ之ヲ放逐シテ更ニ是ガ寬大ニナツタモノデアリマス、又之ヲ取締ツテ今度更ニ遼陽其他ニ於テ革命黨ノ起ラントシタトキニ警告ヲ與ヘラレタト云フコトヲ聞キタイデアリマス、之ヲ要スルニ今日ノ形勢ニ處シマシテハ、將來南滿洲ノ治安ノ維持ハ日本ニテ獨力ニ任ジ、各國ヲシテ日本ニ依頼セシメル方針ヲ取ラレバ、或ハ過去ノ政策ノ如ク、時ノ形勢ニ從テ移動ノ方策ヲ取ラレバ、或ハ全ク官軍、革命軍ノ間ニ介在シテ嚴正中ニ立テ守リ、傍手袖觀ノ舉動ニ出デラレバ、彼ノ居留ノ我同胞ハ不安ノ念、堪ヘマセカ、政府ノ方針ガ同ハレタコトガ出來マスナラバ、之ヲ伺フ我邦人ヲシテ不安ノ念ヲ去ラシメタイデアリマス、五、南滿洲ノ吉長及吉會鐵道ニ關スル方針如何、外務大臣ヲ訪問致シマシタトキニ滿洲ニ付テノ意見ヲ申シタコトガアリマス、是ハ重大問題デアリマス、スカラ無論御答ヲ得ヤウトモ思ハナカッタデアリマス、併ナガラ當時鐵道ハ交通機關ノ必要ナルモノデアリマス、又滿洲ノ利源ヲ開發スルニ必要ナルモノデアリマス、況ヤ既ニ條約ニ依ツテ得タコロノ吉長線並ニ朝鮮間島ノ交換的ニ得タコロノ吉會線即チ吉林カラ會寧ニ通ズル鐵道、其借款ガケモ成立シテ、今日此鐵道ダケノ敷設ハ得タルモノデアリマス、斯ウ申シタコロガ外務大臣ハ大ニ此事ニ付テハヤテ居リマス、斯ウ云フ御答ヲ記憶シテ居リマス、然レニ彼地ニ往テ調查シテ見マスレバ、日本カラ借リタ金ノ百五十萬圓ハ長春ヨリ吉林ニ至ル彼ノ吉長ノ線路ニ於テ、既ニ役人ノ給料賄賂或ハ「コンニッション」ニ費シマシマシテ、其金ガナ、云フコトデ、故ニ豫定ノ如クニ、條約ノ如クニ出來ナイデアリマス、又吉林並ニ會寧間ノ鐵道ニ付テモ、滿洲ノ内地ニ於テ種々ノ

猜疑ノ眼ヲ以テ之ヲ妨害シテ居ルト云フコトデアリマスガ、外務大臣ガ大ニヤテ居ルト云フ言葉ガゴザイマシタカラ、此經過ガ如何ニナツテ居リマス、御答辯ヲ煩ハシマス、七、我陸軍將校中ニ武昌革命軍ヨリ不當ノ金錢ヲ受領シタル者アリト云フ事實如何、宋ノ岳飛ハ「文臣不愛錢武臣不惜死天下泰平ナラン」ト斯ウ申シタコトガアリマス、今ヤ清國人ハ滔々トシテ唯金錢ヲ積ムノミニ汲々トシ、文臣ハ錢ヲ盜ミ、武臣ハ錢ヲ奪フト云フマデニ墮落シタデアリマス、三百年ノ社稷ハ一朝ニシテ顛覆スルモノ、一人ノ義ヲ唱ヘテ節ニ殉ズル者モ無イデアリマス、是ハ畢竟スルニ極端ナル拜金宗ニ陷タ弊害デアラウト信スルデアリマス、然レニ我邦人ハ金錢ニ廉潔デアリマス、殊ニ武士道、道德ニ鍛ヘ上ゲタル軍人ハ君國ノためニ死ヲ顧ミナイデアリマス、況ヤ金錢オヤデアリマス、然レニ此ノ如キ記事ガ内外ノ新聞ニ喋々トシテ載ツテ居リマス、又在清ノ我日本人ノ十ノ七八ハ之ヲ信用シテ居ルデアリマス、此ノ如キコトハ軍人ノ不面目ノミナラス、我帝國ノ汚點ト考ヘルノデアリマス、私ハ事實此ノ如キコトハ、無イコト、信スルデアリマス、又政府ヨリモ無イコトヲ答辯ヲ得タイデアリマス、併ナガラ若モ萬々一此ノ如キコトガアタナラバ、川島司令官並ニ外務省、陸軍守備隊長、其他カラノ報告ヲ徵セラレテ居ルコト、思ヒマス、此事ニ付テ政府ノ決心ノアルトコロヲ伺ヒタイデアリマス、此處ニ民間ヨリ調査シタト稱スルコロノ一冊ガ手ニ入ッテ居リマス、併シハ一軍人ノタメニ辯護シタ傾ガアルノミナラズ、此事ヲ茲ニ二期讀シタリ、或ハ速記ニ載セルト云フコトガアリマス、ラバ、軍事上或ハ外交上由々シキ物議ヲ醸サウト思ヒマス、是ハ割愛シテ載セヌ積リデアリマス、モウ一ツアリマス、八、清國動亂以來我邦人中退清ノ處分ヲ受ケシ者アリヤ若シ是アラバ其員數及犯罪事項及將來ノ取締方法如何、是ハ説明ヲ致サヌデモ此通リデアリマス、若シ其事實ヲ舉ゲマスレバ、澤山ノ事實ヲ持ツテ居リマス、頗ル憂慮ニ堪ヘナイコトガアルマ、是ハ今日ノ略シマス、之ヲ要スルニ清國ノ現勢タルヤ、實ニ累卵ノ危、不測ノ變、朝夕ヲ計ラレヌデアリマス、現内閣ハ外交ニ秀逸ナルコロノ四名ノ大臣モ御揃ヒニナツテ居リマス、對清政策ニ付テハ無論深謀、遠慮、萬々遺算ガナク、機ニ臨ミ變ニ應ジテ、著々歩ヲ進メツ、アルデアリマス、蓋シ其方針ガ國民ニ貫徹致シマセヌ、世人ガ適從スルニ迷ツテ居リマス、新聞及論客ハ曰ク、清國ノ形勢ハ如何ニ成行デアラウ、我對清政策ハ失敗ニ歸スルニアラザルカ、實ニ不安ノ念ニ堪ヘザラナリト云フノカ、今日ノ狀態ゴザイマス、吾輩ハ政府ニ如何ナル政策ヲ執ラレト云フコトヲ要求スル者デアリマス、唯政府ガ確乎不拔、我國ノ國是ヲ立テ、吾々ヲシテ勇往邁進シテ其處ニ往キ、サウシテ國運發展スルノ方針ヲ立テラレタコトヲ希望スルデアリマス、固ヨリ外交ハ紆餘曲折ニシテ、巧妙ナル手段ガアルデアリマセウ、單刀直入ノ威壓の方策モアルデアリマセウ、已ムヲ得ズ兵馬ノ權ニ訴フルコトモアリマセウ、冀ク當局者ニ於テ能ク胸襟ヲ披カレテ、國是ノアルトコロヲ説明サレテ、吾等ヲシテ満足スルコロノ御答辯ヲ得レバ幸ヒナデアリマス、茲ニ謹ンデ聲明ナル外務大臣閣下ニ敬意ヲ表シマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 內田外務大臣

（外務大臣子爵內田康哉君登壇）

○外務大臣（子爵內田康哉君） 柴君ノ清國動亂ニ關スル質問ニ御答致シマス、質問箇條ハ八ツアリマス、此中七ツダケハ私ヨリ御答ヲ致シマス、第七ハ陸軍ノ當局者ヨリ御答致シマス、此質問ニ先チマシテ柴君ハ唯今全體ノ事柄ニ付テ熱心ナル御演說ガアリマシタ、殊ニ外交ニ重キヲ置カレタコトヲ聽キマシテ、私ハ其職ニ在リマシテ洵ニ有難ク之ヲ謹聽致シマシタ、故ニ其大體ノコトニ付キマシテ一應御答ヲ致シタイト思フ、唯今ノ御話ニハ清國事件勃發以來、日本政府ハ方針ガ無イ、常ニ變ツテ居ルト云フヤウナ趣意ノ御質問ト伺ヒマシタ、是ハ日清戰役、日露戰役若クハ義和團ノ事

變ニ較ベテ見ルト、其計畫ヤ何カ分ラヌ、斯ウ云フ質問モアツタヤウニ思フ、政府ガ此事件ノ發シマシタ以來、方針ハ一定シテ居リマス、即チ清國ノ領土保全ヲ大主義ト致シマシテ、又支那ノ事件ニ對シマシテハ、嚴正中立ノ態度ヲ執ル、而シテ我國民ノ生命財產ヲシテ危害ナカラシムル場合ニハ、之ニ必要ナル自衛ノ途ヲ取ル、又清國ニ於ケル我國民ノ利權ノ擁護及其増進ハ事情ノ許ス限リ之ヲ圖ル、此ノ如キ方針ヲ立デマシテ一定シテ變リマセヌ、是ハ日露ノ清ノ兩役ニ比較致シマスレバ事情ノ違フ所ナラシメ、日露ノ役ハアレハ敵意ヲ以テ之ニ對スル所トシテ、且日本ヲ始メ各國ガ最も心配シタコロ免モ角モ、今日マデハ支那ノ内亂ニ止メテ居ル、且日本ヲ始メ各國ガ最も心配シタコロ外人ノ生命財產ニハ成ベク手ヲ著ケナイト云フ態度ヲ官軍共ニ取ツテ來マシタ、故ニ今日マデハ幸ヒニシテ何等ノ干渉スル場合ガナカッタノデアリマス、唯、晚近北京ニ於キマシテ意想外ノ變亂ガアリマシタカラ、之ニ對シマシテハツレノ處分ヲ機ヲ失セズ取ツテ積リテアリマス、即チ千二百ノ兵ヲ増派致シマシテ、又北京ニハ山海關ヨリ直ニ百名ノ兵ヲ増派致シマシテ、今後更ニ必要トアラバ内地ヨリ或ハ滿洲ノ兵ヲ補助スルコトモアルカモ知レマセヌ、此ノ如キ處置ハ一々取ツテ居ル積リテゴザイマス、大體ノ御質問ニ對シテハ是ダケ御答致シマス、是ヨリ各項ニ互ニ御答致シマス「第一、我が北京駐在ノ伊集院公使ハ清帝退位マデハ君主立憲主義ヲ固執セリト聞ク事實如何」、本問ニ對シマシテハ豫算委員會及其他ノ委員會ニ於キマシテ再三御答辯致シマシタ通り、政府ハ初メヨリ清國ノ政體問題ニハ不干渉ノ態度ヲ取ツテ來マシタ、伊集院公使ハ其訓令ニ從テ行動致シタ次第デアリマス、今日清國ニ於キマシテハ義和團事變以來、清國ノ朝野ノ人々ヲ論ゼズ、能ク外人ニ向テデロ、ノ説ヲ聞クコトガアリマス、是ハ殆ド北京ニ於ケル常ニ起ル事柄ニナツテ居リマス、故ニ信條十九箇條ヲ發布サレマシタ頃ニハ官トク民トナク各國ノ公使ヲ回テデロ、ノ意見ヲ求メタコトガアル、此時ハ我伊集院公使ノミナラズ、多クノ公使ハ信條十九箇條ヲ讀ミテ早ク騷亂ヲ治メヤウニシタラ宜カラウト云フヤウナ意見ヲ述ベタコトガアル、即チ日英協同シテ居中斡旋ノ勞ヲ取り、若クハ列國公使及官軍兩方ノ代表者ニ對シテ、早ク協定シタラ宜カラウト云フ忠告ヲ致シマシタトキハ、明カニハ明言ハ致シマセヌケレドモ、ヤハリ其邊ノトコロデアラシタラ宜カラウト云フ意味ハ含マレテ居タト云ウテモ差支ナイト思ヒマス、即チ日本ノ政府ガ此政體問題ニ對シテ執リマシタトコロノ事柄ハ唯今申シタ通りデアリマス、第二問ノ「大總統ニ舉ゲラレタル袁世凱ガ南京政府ニ對シ北京ヲ去ル能ハザル理由ノ一トシテ北京ノ親王中某國ニ恩弄セラル、モノアルガ爲ナリト答ヘシハ、明ニ日本帝國國ヲ指シタルモノナリト云フ政府ノ所見如何」「此問題ハ要シマスニ袁世凱ト南京側ニ行ハレタル問答デアリマシテ、政府ニ於テハ是ガ果シテ事實デアるか、事實デナイカ、確言スル譯ニイキマセヌ、要スルトコロハ是ハ支那當事者間ニ行ハレタ話デアッ、我政府ニ於テ何等之ニ干與スベキモノデハナイト思ヒマス、況ヤ此日本國トシテ北京ノ親王ヲ恩弄スル要モナク、恩弄スル皆モナイ話デアリマス、是ハ日本ニハ寸毫モ關係ナキトコロノ事柄ト私ハ思ヒマス、第二問ノ邦人對招商局トノ借款ハ果シテ成立セシヤ其經過如何」「此問題ニ付キマシテハ唯今柴君ハ實地ニ臨ンデ御説明ガアリマシタカラ、私以上ニ御承知カモ知レマセヌガ、政府ト致シマシテモ此問題ニ干渉シタコトガアリマス、抑此變亂ノ始マリマシタ以來、各國ノ間ニ此軍用ニ用立テタル、恐レノアル金ハ官軍共ニ貸サナイト云フコトニシタイ、就テハ其國民ガ何等此種ノ借款ヲ起ストキニハ成ベク之ヲ獎勵セザルヤウニ致シタイト云フ申合セガアツタノデ、然ルニ此招商局ハ唯今柴君ノ述ベラレマシタヤウナ來歴ガアリマス、且御承知ノ如ク招商局ハ楊子江其他支那沿岸ニ於ケル貿易上最も重要ナル場所ヲ占メテ居ル、此招商局ノ運命ハ我對清貿易、又清國ニ於ケル航運業ニ非常ニ影響ヲ及ボス問題デアリマスガ故ニ、南京側ヨリ之ヲ抵當致シテ借款ヲ致シタイト云フ問

題ガ起リマシタトキニハ、是ハ他ノ問題トハ違ヒマシテ、我當局ニ於テモ非常ニ注意ヲ拂ツタ問題デアリマスノミナラズ、此借款ニ對シテハ非常ニ競争ガ起ツテ、若シ一他國ニ之ヲ取ラレタナラバ、我航運業ニ非常ニ影響ヲ及ボス話デアリマス故ニ、政府ハ他ニ競争ガアル間ハ之ヲ阻止スル譯ニ往キマセヌ、其事柄ハ明カニ列強ニモ答ヘタ次第デアリマス、而シテ其招商局トノ借款ノ經過ハ其後株主三反對ガ起リ、其他ノ障礙ガアリマシタ、遂ニ成立セザルニ開イテ居リマス、尙招商局ハハドコノ國ニ對シテモ之ヲ抵當シテ金ヲ借ラナイト云フ約束ガ出來タヤニ開イテ居リマス、併シハ主トシテ招商局ト我營業者ノ間ノ話デアリマシテ、是以上ニ立入りマシテ私ハ此所ニ報告スルノ自由ヲ得マセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス、第四問「南滿洲ノ治安維持方策及將來ノ方針如何」、本問題ハ甚ダ重要ナ問題デアリマシテ、南滿洲ニ於テ帝國國ガ特殊ノ利權ヲ有シテ居リマスコトハ諸君ノ審ニ御承知ノ事柄ト存ジマス、關東租借地ハ申スニ及バズ之ニ四五倍スル程ノ中立地帶ニ對シテ關係及七百哩ノ鐵道線路及附屬地、或ハ鴨綠江ニ於ケル木材事業、煙臺及撫順ノ炭坑、其他鐵道附屬地ニ沿ヒマシテ我人民ガ起シマシタコロノ各種ノ事業、是等ノ利害關係ハ到底支那ノ本土ニ於テ各國トノ關係ニ於テ見ル能ハザル程ノモノデアリマス、誠ニ特殊ナ利益デアル、加之南滿洲ハ我領土タル朝鮮ト東南ノ境ニ於テ鴨綠江及豆滿江ヲ境ニシテ接近シテ居リマス、故ニ南滿洲ニ於ケル治安秩序ノ紊亂ハ直ニ我特殊ノ利權ニ影響ヲ及ボスノ此事件ノ初メヨリ最も注意ヲ拂ヒマシテ、先第デアリマス、ソレ故ニ南滿洲ニ對シマシテハ此事件ノ初メヨリ最も注意ヲ拂ヒマシテ、方ニ於ケル我軍部ノ官憲ニ對シテ一定ノ方針ヲ定メテヤリマス、即チ我租借地若クハ鐵道附屬地等ヲ策源地ニシテ、何等治安及秩序ヲ紊亂スルヤウナ行動ヲ取ルモノニ對シテハ、嚴重ニ之ヲ取締ル、其我特殊ノ利權ニ關係無キ限りハ是ハ彼等ノ自由ニ任セル、又我臣民ノ生命財產ニ危害ヲ及ボスヤウナコトガアルトキニハ、是非容赦ナク取締ヲ致ス、此ノ如キ方針ヲ定メマシテ、ソレヲ今日マデ實行シテ居ル所以デアリマス、故ニ我租借地ナリ、或ハ附屬地ニ於テ未ダ此治安ヲ妨害セザル程度ニアリマス間ハ敢テ干渉ヲセヌ、苟モ之ヲ紊亂セシムル虞ガアルトキニハ、ソレヲ取締ヲ致シタ次第デアリマス、唯今柴君ノ御話ニモアリマシタ中立地帶ノコトニ關シマシテモ、北伐軍ガ中立地帶ニ上陸スルト云フコトヲ聞キマシタニ依リ、再三北伐軍ノ首領ニ對シテ其上陸ノ不可ナルコトヲ警告シタ、其警告ニモ拘ハラズ彼等ハ中立地帶ニ上陸致シマシテ、遂ニ官軍ト衝突ヲ致シマシタニ依リ、我ハ出兵ヲ致シマシテ——中立地帶ニ出兵ヲ致シマシテ、雙方ニ向テ中立地帶ヨリ退去スルコトヲ命ジマシタ、幸ニ彼等ハ兩方トモニ快ク之ヲ承諾シマシテ、終ニ中立地帶ヲ退イタヤウナ次第デアリマス、其他鐵道沿線ニ於テ官軍ノ間ニ衝突モアツタコトガ、我國民ノ生命財產ニ危害ヲ及ボス虞ガアツタモノニ對シテハ、直ニ我兵ヲ出シテ雙方ヲ引別レシメタコトモ度々アリマス、ソレデ南滿洲ノ此治安維持ニ對シタル處置ハ唯今申シタ通りノコトデアリマシテ、今後ト雖モ同ジ方針ヲ執ツテ參預リデアリマス、第五問「南滿洲ノ吉長鐵道及吉會鐵道ニ對スル方針如何」、吉長鐵道ハ御承知ノ通り明治三十八年ノ末北京條約協定ノトキニ其基ヲ起シマシテ、將來清國ガ吉林長春間ニ鐵道ヲ敷設スル場合ニハ、其金ハ日本ニ借リルト云フコトヲ極メマシタノデゴザイマス、其後二三回ノ協商ヲ經マシテ、遂ニ吉長鐵道ヲ拵ヘル、其半分ノ金ハ日本ヨリ借リ、萬般ノ便法ハ關外鐵道即チ山海關ヨリ今日ハ奉天マデ達シテ居リマス、英吉利ノ資本ニ依ツテ起ツタコトノ彼ノ鐵道ノ便法ニ依ルト云フコトヲ極メタノデアリマス、併シ此鐵道ハ支那ガ拵ヘルノコト云フノガ基ニナツテ居リマス、唯日本ノ技師長ト會計官ト之ニ入レルト云フ定メニナツテ居リマシテ、明治四十二年ノ末頃ニ我技師長ヲ入レ、其後又我會計官ヲ入レテ事業ニ著手セシメタ次第デアリマス、然ルニ不幸ニモ著手スルヤ間モナク滿洲ニ「ベスト」ガ起リマシタ、其タメニ工事ニ意外ノ障害ヲ與ヘマシ

タ、其上ニ總辨其人ヲ得ズ、遂ニ今日マデハ三回總辨ヲ更ヘタヤウナ次第デアリマス、且鐵道敷設ニ不熟練ナタメニ——清國側ノ役員ガ不熟練デアルタメニ意想外ノ障礙ヲ此工事ニ與ヘタ次第デアリマス、是ハ獨リ吉長鐵道ノミナラズ清國人ガ外ノ鐵道工事ニ對シマス仕打ヲ見テモ餘リ意外トスルベキモノデハナイ、往々是ハモウ有リ勝ノコトデアリマス、其上ニ我技師長及會計官ノ權限ニ於テ十分ナラザルトコロモアリマシテ、今日マデ豫定通りノ進行ヲ見マセズ、併シ昨日受取リマシタ報告ニ依リマスト、柴君ガ清國ニ御出デニナルトキニ御面會シタトキヨリモ少シ工事ハ進ミマシテ、八十哩ノ中今日ハ四十六哩ホド出來テ居リマス、後ノ三十三哩出來マス、長春ヨリ吉林マデ是ガ續クコトニナリマス、唯今日最モ困難ヲ感シテ居リマス、此鐵道資金ノ不足デアリマス、先刻御話ノ通り二百萬兩以上ノ金ヲ既ニ費消シ盡シテ居ル、サウシテ此變亂ガ起リマシタメニ資金ノ出所ガ無クナッテ、遂ニ我ニ其補給ヲ請求シテ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、結局我ヨリ資金ヲ補給シナクテハナラズ覺悟ハシテ居リマスガ、唯今マデノ通りノコトデハ、ドウシテモ、之ニ應ズル譯ニ往キマセヌカラ、其金ノ仕拂ニ付テハ十分ナル保障ヲ得マシテ、此金ヲ貸付ケテ、一日モ早ク此鐵道ノ完成ヲ致サセタイト思フテ居リマス、ソレヨリ此吉會鐵道ニ關シマシテハ、是ハ吉林ヨリ朝鮮ノ會寧ニ到ルトコロノ鐵道デアリマシテ、是モ早晚接ヘル、併シ其時期ハ清國ヨリ之ヲ定メテ日本ニ相談スルト云フコトニナッテ居リマス、此鐵道ハ其延長約ソニ二百七十哩内外ニナルヲウト思ヒマシテ、金モ大分掛リマス鐵道デアリマス、昨年既ニ其必要ヲ感シマシテ我奉天ニ居リマス總領事ヲ致シマシテ、總督ニ交渉ヲセシメマシタ、總督ハ直ニ其旨ヲ北京ノ方ニ通シマシタガ、其返答ノ來ル前ニ此騷亂ニナッテ、其儘ニナッテ居ル次第デアリマス、是モ出來得ル限り早ク話ヲ進メタイト思フ次第デアリマス

○柴四朗君 私人說明ノコトニ付テチヨット一言附加ヘタイ、此第六ノ奉天山海關ノ鐵道守備ニ對スル方針如何ト云フ此極ク簡單ナ問題デアリマス、此間ヲ日本デ英國ト協商シテ此責任任ズル方針ヲ執ラレヤ否ヤト云フコトヲ附加ヘテ置キマス

○外務大臣(子爵内田康哉君) 第六、是ハ先刻御說明ガ落チテ居リマシタヤウニ感ジテ居リマシタガ、唯今ノ御說明デ能ク分リマシタ、此間ノ鐵道ハ私が申スマデモナク、北清ト我鐵道——南滿鐵道及滿洲ニ於テ最モ我重キヲ置ク地帶ト聯絡致シマス、唯一ノ鐵道デアリマス、又一朝北清方面ニ事ガアリマシタ場合ニ、緩急ニ應ズルノ途ハ是ヨリ外ハアリマセヌ、本邦ヨリ兵ヲ送リ、若クハ旅順ヨリ船ヲ仕立テル如キコトヲ致シテ居リマシテハ、時機ヲ失スル場合ガアリマス、其場合ニ奉天ヨリ直ニ山海關ヲ經テ兵ヲ送ルト云フコトハ、最モ早キ道デアリマス、故ニ之ニ對シテ最モ重キヲ置イテ居ル次第デアリマスガ、今日デハ幸ニ此鐵道ノ聯絡ヲ絶タレヤウナコトハ起リマセヌ、唯、先般山海關ヨリ十五哩バカリノ北ノ方ニ當リマシテ、鐵橋ガ壞レマシテ、之ニ對シテハ直ニ我監視兵ヲ送ッテ之ニ監視セシメテ居リマス、其後工事モ出來マシテ、鐵道ハ今ハ通ジテ居リマス、唯、寒氣ノタメニコンクリートヲ用ユルコトガ出來ナイ故ニ、其邊ケハ汽車ノ徐行ヲシテ漸ク通ジテ居ルト云フ次第デアリマス、萬一將來ニ於キマシテ此鐵道ノ聯絡ヲ絶タレヤウナ場合ニ當リマシテハ、政府ニ於テハ之ニ適應スルトコロノ處置ヲ取ル積リデアリマス、此鐵道ニ付テハ外國ノ關係モスカラ此所デハ明言ヲ憚リマス、第七ハ陸軍當局者ヨリ說明ヲ致シマス、第八即チ最後ノ問題ニ對シテハ柴君ニ於テ御保留ニナッテ點モアリマス、唯私ノ方デハ分ッテ居ル點デ申上ゲマス、今日マデ退清處分ヲ受ケマシタ者ハ安東縣デ二人、哈爾濱デ一人、遼陽デ一人、上海デ二人、芝罘デ二人、吉林デ二人、關東州デ七人、都合十九人デアリマス、是等ハ必シモ清國動亂ノタメニ退清處分ヲ受ケタモノデアリマス、是ハ殆ド十萬ニ近イ我臣民ガ滿洲方面ヨリ支那全土ニ

於テ散在シテ居リマス故ニ、平生ニ於テモ此位ノ退清處分ヲ受ケルモノガアリマス、其犯罪ノ事項モ御問ニナッテ居リマス、申上ゲマスガ、多クハ賭博或ハ金品ヲ強請致シマシテ、婦女ヲ誘拐致シタ者、詐欺脅迫ヲ致シタ者、不正賣買ヲ致シタ者、治安妨害ヲ致シタ者ガ一人關東州ニアリマシタ、是モ格別此動亂ニ關係シタモノトハ思ヒマセヌ、是ガ御答致シマス

○政府委員(岡市之助君) 柴君御質問ノ第七「我陸軍將校中ニ武昌革命軍ヨリ不當ノ金錢ヲ受領シタルモノアリト云フ實否如何」御答致シマス、是ハ斯様ナ風聞ヲ耳ニ致シタコトガゴザイマス、我軍人ノ名譽上頗ル關係ノアルコトデ、ソレデ今日マデ再三調査ヲ致シマシタ、其結果ニ依リマス、不當ノ金錢ヲ受領シタ形跡ハ認メラレマセヌ、併シ此疑ヲ被リマシタ本人ハ、今歸朝ノ途中ニゴザイマス、不日歸著致スデゴザイマセウカラ、尙念ノタメ取調ヲ致シ積リテゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒマス、御許ヲ願ヒマス

○小川平吉君 是ヨリ保險業法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、御許ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 御異議ハ無イモノト認メマス、質問御三、官紀振肅ニ關スル質問——武田貞之助君

○武田貞之助君 委員會ヘ出席シナケレバナリマセズ、ソレニ今日ハ聲ガ出マセヌカラ延期ヲ申込ミマス

○議長(大岡育造君) 議長席ヲ退キ、副議長肥塚龍君議長席ニ著ク

○副議長(肥塚龍君) 暫時此席ニ著キマス、質問第三延期ト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ延期致シマス、質問第四、米價騰貴ニ關スル質問、武市庫太君

○武市庫太君 段々質問ガゴザイマシテ、諸君モ御倦怠デゴザイマセウガ、私ノハ今日ニ於テ止ムベカラザルモノト自ラ感ジマス、又其説クトコロモ最モ簡明ニ致シマス心得デアリマス、御倦怠ノ此上尙御忍ビテ御清聴ヲ煩シマス、胡馬北風ニ嘶キ、越島南枝ニ巢フ、禽獸ノ如キモノデモ皆其郷土ヲ愛スル此ノ如キ次第デアリマス、況シテ人間ニ於テハ、其郷ニ向テ其情ヲ深ウスルノハ當然デアルト思ヒマス、私ハ此問題ヲ提起スルニ付キマシテ、誠ニ我郷土ノコトニ一念到リマシテ、初メテ此問題ヲ起ス動機トナリマシタノデゴザイマス、諸君モ御承知ノ通り近年物價ノ漸々騰貴シ、本年ニ至リマシテハ愈以テ騰貴シ、アル有様ニ付キマシテハ、悲慘ナル有様ガアチコチニ現ハルヤウナコトデアリマス、デ極ク手短ニ申シマス、私ノ國デ發行シタル此ノ如キコロノ報道ガアツタデアリマス、其ノ如キコロノ報道シタル、私ノ國デ發行シタル「愛媛新報」ガ客月二十三日附ヲ以テ、此ノ如キコロノ報道シタル「伊豫郡」漁村松前尋常小學校ニテハ、近來生徒ノ顔色憔悴意氣銷沈セシモノ、妙カラザルヨリ職員側ニ於テハ、此度米價ノ暴騰ニ伴フ減食ニ基クモノナラント察シ普通ノ如ク三度ノ食事ヲナサザルモノアリヤ有ラバ手ヲ舉グベシト試問シタルニ二學年以上ノ生徒ハ少シハ年齒モ長シ居ルダケ實際減食シテ居ルモサカ手ヲ舉グントモセザリシガ、一學年生ノ無邪氣ナル殆ド全部舉手シテ減食ノ事實ヲ訴ヘタリ「斯ウ云フ記事ガゴザイマス、又ソレニ續キマシタコロデハ是ハ表題ハ「憫レナル物語」ト

シテゴザイマスガ「松山市第三尋常小學校第一學年某學級ニテハ此數日晝食ノ時間他ノ生徒ノ退場シテ家庭ニ歸ルモノアレバ、辨當部屋ニ赴クモアルニ一八又ハ三八ノ情然トシテ教場ニ居殘ルモノアルヨリ受持教員ハ不思議ニ思ヒ或ル日三八ノ居殘ル場合試ミ其仔細ヲ質シタルニ一人ハ私ノ家デハ一度ノ御飯ヲ二碗ト極メテ居マヌワレニ今朝私ハ三碗ヲ食ベマシタカラ、歸ッテモ食ベラレマセシト答ヘ、他ノ一人ハ口ヲ摘ヘテ歸ッテモ御飯ガアリマセシト答ヘタルニハ受持教員モ暗涙ニ咽ビタリト云フ此報導ニ依リマシテハ大ナルトコロノ感ヲ起シマシタデゴザイマス、ツレ以テ來果シテ社會ノ物價ガ如何ナシ趨勢ニナッテ居ルカ、又此米價ニ就テハ如何ナルモノデアルカト云フコトニ多少心ヲ傾ケテ調査ヲ致シマシタガ、此秋カラ又我帝國全體ニ所謂一斑以テ豹ヲ知リ、一花開ケテ天下ノ春ヲ知ルデ、何レノ里モ斯ル慘狀ヲ見ツ、アル有様ヲ私ハ見聞致シマシタデゴザイマス、是ニ於テカ私ハ此質問ヲ提起スルノ已ムヲ得ザルニ至リマシタ、是カラハ此質問ニ對シマシテ極ク簡略ニ其趣旨ヲ説明致シマセウト思ヒモ、元來我國ノ商工業ト併セテ此農業モ盛ニ致サンナラヌ次第デゴザイマスケレドモ、由來多數ヲ持ッテ居リマヌコト此農業ガ本位トナリマシテ、此土臺ノ上ニ於テ國家ノ隆盛ヲ期シマヌノガ本當ノ順序デラウト思フ、農業興ラズンバ商工業モ亦興ラヌヤウナ次第ニ立至ルト思ヒマス、此農業ニシテ盛ニナリマヌレバ、商工業隨ッテ盛ニナリ、國家遂ニ隆盛ヲ期スルヤウニナルト思フノデゴザイマス、デゴザイマスレバ此農業者ニ向ッテ及フ限リノ力ヲ國家モ與ヘテ、彼ヲシテ其所期ヲ盡サシメルヤウニ致サネバナルマイト思フノデゴザイマス、然ルニ近來此農家ハ或ル事情ノタメニ益々其耕耘ノ業ヲ手控ヘマシテ、マダ是ヨリモ易イコトコロノ樂ナトコロノ職業ニ向ッテ手ヲ著ケントナシツ、アルヤウナ傾向デアリマスコトハ、甚ダ國家ノタメニ痛マシイコト、思フノデゴザイマス、デ此場合私ハ農家ヲシテ安ジテ其業ヲ取ラシメ、サウシテ農家ニ及ブデケノ便宜ヲ與ヘルト云フコトハ、國家ガ當然爲スベキ務デアラウト存ジマスルカ、此第一問ヲ發シマシタ次第デゴザイマス、即チ第一問ハ從前モ國家ト致シマシテハ農工銀行ノ設立デアルトカ、或ハ郵便貯金ノ分配ニ依リマシテ、或ハ耕地整理ノ補助トカ、種々ノコトカラシテ國費ヲ費シテ此農業上ノ利益ヲ與ヘルコトニ致シテ居リマスルケレドモ、此ノ如キデハ尙私ハ甚ダ不足ト感ジマスニ付キマシテハ、政府ハ此財政困難ナル場合デアリマシテモ、國本タルトコロノ農業、我國唯一ノ根本的ノ關係ノアル此農業ニ向ヒマシテハ、モウ少シ力ヲ致サレタイト存ジマス、ツレニ付テハ政府ハ此上尙是等ノコトニ付テ其金額ヲ増スト云フノ意思ハナイデアルカ、増サナケレバナラスト思フガ如何デゴザイマス、此一問ヲ發シマシタ次第デゴザイマス、ツレカラ第二問ニ於キマシテハ獨逸ナドハ信用銀行ヲ設ケマシテ、サウシテ低利ノ資本ヲ農家ニ供給スルヤウナ方法ヲ取ッテ居リマス、成程チヨット一見スレバ我國ニハ農工銀行ナドモアリマスルカ、是等ノ必要ガナイカノ如ク見エマヌケレドモ、併ナガラ是ハ又性質ガ違ヒマシテ獨逸ナドニ行ハレテ居ルコトコロノモノハ各町村々々其町村ノ事情ニ依リマシテ、大小廣狹ガゴザイマス、適宜ニ之ヲ爲スコトヲ得マスルカシテ、其農家ガ用井マヌコト資本ハ容易ニ之ヲ低利ニ得ルコトガ出來マシテ、而シテ此農產物ヲ賣リマシタ上ニ付テハ意外ノ利益ヲ儲ケルヤウナ次第ガアルデゴザイマスガ、政府ハ斯ウ云フヤウナ外國ノ制度ニ付テ調査ヲサレタコトガアリマスルカ、又アルト致シマスレバ、之ニ付テハドナル云フ御考ヲ持タレデゴザイマセウカ、ドウゾ此ノ如キ制度ヲ我國ニモ用井ラレタイモノデアルカ、其御意見ハ如何、斯ウ申スノガ私ノ第二ノ要旨デゴザイマス、ツレカラ第三ハ以前封建時代ハ達ヒマシテ、今日我國ハ南ノ端カラ北ノ端、東ノ端カラ西ノ端マデ、交通ノ便ガ大ニ開ケマシテ、年々鐵道ナドモ進シテ參リヤウナ次第デゴザイマス、併ナガラマデ歐米各國ノ如ク普及ト云フ點ニハ參リマセヌ、參リマセヌケレドモ、東南ノ物ヲ之ヲ西北ニ致シ、西北ノ物ヲ之ヲ東南ニ致ストカ、或ハ南ノ物ヲ北ニ致シ、北ノ物ヲ南ニ致スト云フコトモ、容易ク爲シ得ラル、ヤウナコトニナリマシ

タ、彼ノ千里江陵一日ニ還ル如キ快速ナルコトハ出來マセヌデモ、二數日ノ日子ヲ費シマスレバ、確ニ之ヲ爲シ得ラル、ヤウナ次第ニナッテ來マシタ、斯ウ云フヤウニナッテ來マシタニ付キマシテハ、或ハ東北ニ不足ヲ告グマスレバ、西南ノ餘額ヲ以テ之ニ給シ、西南不足ヲ告グレバ、東北ノ餘額ヲ以テ之ニ給スト云フコトニ致シマシタナラバ、其價ト云フモノヲ平均シマシテ、米價暴騰ノ弊ヲ除クコトガ出來マセウト存ジマス、之ニ付テハ其唯一ノ機關ナルトコロノ汽車ノ運費ヲ低減スルノガ何ヨリノ方策ト存ジマス、デ政府ハ今日ノ場合此上尙汽車ノ賃金ヲ低減セラル、トコロノ御考ハ無イデゴザイマセウカ、是ガアリマスレバ農家ハ其重タイトコロノ澤山ノ米ヲ運搬スル上ニ得ルコトノ利益ハ尠少デナイ、斯ウ考ヘマス次第デゴザイマス、ツレカラ第四ハ現今ノ米價ハ諸君モ御承知デゴザイマス通り、未ダ曾テ有ラザルコトコロノ價ヲ表示シテ居リマス、是ハ甚ダ私ハ不可思議ニ存ジマス、尙一昨年ノ如キハ大ナル農作デハナカッタデアリマスケレドモ、昨年ノ如キハ平常作以上デゴザイマシテ、先ヅ豐作ト稱スベキ年柄デアル、然ルニモ拘ラズ其米價ノ上カラ見マスト、昨年以上三騰ッテ居ルヤウナ有様デゴザイマス、昨年以上トコロカ、殆ド未ダ曾テ有ラザルトコロノ價値デアルノデアリマス、デ此ノ如キコトニ至リマシタノハ、或ハ通貨膨脹ノ結果カ、或ハ需用供給ノ關係カ、又其他種々ノ原因ガアッテ、此ニ至リマシタノカモ知レマヌケレドモ、此ノ如キ價格ヲ現ハスト云フコトハ尋常ニ一樣ノコトデハナイ、即チ私ハ過當ノ價値ト見ネバナラスト思ヒマス、成程農家ニ於テ米價ノ騰貴ハ欲スルトコロデアル、又吾モ農民ト致シマシテハ米價ノ高キヲ望ミマス、サウシテ農民ノ資産ニ於キマシテ富シテ參リマスレバ、前ニ申上ケマシタ通り、國家ノ富ム次第デゴザイマス、慶スベキデアリマスケレドモ、併シ理宜ニ於テ合ハザルトコロノ騰貴ガ、未ダ曾テアザザルトコロノ現象ヲ現ハスニ至リマシテハ、却テ農民ヲシテ不利ヲ招クヤウナ窮狀ニ至リハセヌカト私ハ考ヘルノデゴザイマス、是ガ經濟上ノ原理ニ照シ、需用供給ノ上カラ見マシテ、當ニ此三騰ルベキ等ノ價格デアレバ、吾々ハ之ヲ喜ンデ大ニ之ヲ樂ム、次第デゴザイマスルケレドモ、然ラザルニ於テハ其眞價ニ之ヲ復シテ、平準ヲ得テ、サウシテ農家モ安ジテ已レノ業ヲ爲スト云フコトニ致シマセンナラスト考ヘルノデゴザイマス、デ私ハ稍々此價格ト云フモノハ過當デアリハシマセヌカト云フ虞ヲ抱キマスルガ、果シテ政府ハ如何ナル御考デアルカ、是ガ若シ私共ト見ルトコロヲ同ウセラル、ナラバ、之ニ對スル緩和策ヲ講スル御意思ハナイノデアラウカ、如何デアラウカ、餘リ暴騰シマスレバ、農家ハ忽チ利益ヲ得ルガ如クニシテ、而シテ農家ハ得マセヌト云フ反對ノ結果ヲ私ハ現ハスデアラウト存ジマス、是ハ唯今マデノ經歷ニ徴シマシテモ歷々トシテ居ル次第デゴザイマス、丁度今日ノ場合ハ將ニ農家ガ其米ヲ生産致シマシテ、之ヲ市場ニ出シテ、サウシテ我帝國ハ米ニ充チテ居ナケレバナラヌ時期デアルニモ拘ラズ、斯ル高價ノ有様ヲ現ハシテ居ルト云フヤウナ次第デゴザイマス、農家ハ其慣習ニ馴染ミマシテ、サウシテ賣惜ミト云フヤウナ傾向ニ流レテ來マス、而シテ其米ノ實價ガ之ニ伴フモノナラ宜シイノデゴザイマスガ、或ル關係ノタメニ斯ル奇態ナル現象ヲ呈シ居ルモノト致シマスル、是等ハ氣付カズシテ將ニ賣ルベキ其機ヲ失シマシテ、サウシテ却テ此米ノ廉キ場合ニ於テ之ヲ倉出シマスト云フヤウナコトガアルアリマス、斯ルコトニナリマスト農家ノ倉庫ハ既ニ空ウシテ、サウシテ他ノ奸商ノ懷ガ茲ニ溫マルト云フヤウナ妙ナ現象ヲ來スト思ヒマス、斯ウ云フ次第デゴザイマス、其價格ノ平準ヲ得、當然ノ理ニ於テ保ツベキ價格ニテ之ヲ賣買致シ、之ニ依ッテ農家ハ收益ヲ得ルト云フコトニ致シタイモノト考ヘルノデゴザイマス、ツレカラ今度ハ最後ノ五ノ質問ニ移リマス、此我國ノ米ノ價格ノ平準ヲ得ルタメノ一ノ道具ト致シマシテ、米穀取引所ト云フモノガ出來テ居リマス、成程是ハ必要ナモノデ、斯ウ云フ機關ガナクテハ我國ノ米價ノ平準ヲ得ルコトハムカシイコトデゴザイマス、斯ル制度ノアルコトハ當然ノコト、信ジマスルガ、アノ制度ニ於テハ其趣意ヲ全ク行フコトガ出來ルヤ否ハ私ノ疑問ニ屬シテ居リマスルノデゴザイマス、成程

一利ノアルトコロハ一害ノ存スルトコロデゴザイマスカラ、唯利ノミヲ見ルト云フコトハ出
來マセケレドモ、其害ノ多キモノハ之ヲ矯正シテ、サウシテ利ヲシテ大ナラシメルヤウナ
ニ致サナケレバナラヌト思ヒマス、唯今アリマスニコロノ米穀取引所ノ如キモノハ、或ル
點マデハ誠ニ都合好キモノト存シマスケレドモ、時ニハ其價ヲシテ理窟上下ルベカラザル
程度ヨリモ之ヲ抑下ケ、又上ルベカラザル程度ヨリ之ヲ抑上ケテ、サウシテ之ニ從事スル者
ガ暴利ヲ其間ニ貪ルコト云フヤウナ弊ガ此取引所ノ制度ノ上カラ出テ居ルコトモアリマス
ニ思ヒマス、今デゴザイマス、是等ハ其騰貴ト低廉トノ如何ニ拘ハラズ、平準ヲ得ルコト
ノ機關ナル此米穀取引所ト云フモノ、趣旨ニ背ク次第デゴザイマシテ、政府ハ之ニ向ッ
テ改善ノ策ヲ講セラレタイト存シマス、ソレニ付テハ如何ナル方法ヲ以テ政府ハ之ニ付
テ御調査ニナリツ、アリマスルカ、ソレガ伺ヒタイ、又其御調査ニシテナリツ、アリマシタ
ラバ、其方法ハ如何ナル計畫ニサレマスルカ、又ソレハ他年ヲ待ツテセラレマスルカ、又近
キ將來ニ於テナサレマスルカ、是等ノ意思モ承リタイト存スルデアリマス、是ガ即チ第五
問ノ趣旨デゴザイマス、之ヲ要シマスルニ私ノ此質問ヲ呈シマシタノハ、畢竟農民ヲシテ
其農產物ニ對シ、即チ米ノ如キ大產物ニ對シテ利潤ヲ得セシメ、農家ヲシテ殷富ノ境
涯ニアラシメタイト云フ精神ハ申スデモナイ次第デゴザイマスガ、此我國民ノ常食トス
ルトコロノモノハ、又此米ニアル以上ハ、先ニ私ガ新聞紙ニ於テ一端ヲ申述ベマシタ如
ク、誠ニ小學生徒ハ食フモノモエ食ハズ致シマスルヤウナ、悲惨ナル有様ニ立至ラシメザ
ル價格ノ範圍ニ於テ、サウシテ農家ハ彼ノ利益ヲ十分ニ得テ以テ國家ノ經濟上目ク料
理シ得ラレルヤウナ有様ニアリタイ、斯ウ考ヘマスルノデゴザイマス、唯ニ農家ガ其利得ガ
多キニ致シタトコロガ、之ガタメニ諸物價ガ騰貴致シ、四圍ノ狀況ガ悲惨ニナリマスレバ、
彼レ一人晏然タルコトハ得マセヌデアリマス、是ハ私ガ細説ヲ致シマスルデモナイ、既
往ノ事歴ガ之ヲ證シテ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、互ニ相待ツテ國民全體モ餘リ高
イ、此非常困難ノ生活ニ流レシテ行キ、サウシテ農家ハ大ナル利益ヲ其饑底ニ收メ
ルト云フヤウナコトニシテ、兩々相待ツテ行クト云フコトニ致シタイモノト考ヘル、此衷情カ
ラシテ茲ニ此質問ヲ提出シタ次第デゴザイマス、果シテ農家ニシテ其米價ノ平準ヲ得、又
一方ノ側ニ於テハ勞力ヲ省キ、廉キ資金ヲ得テ、サウシテ之ニ從事スルコトニ至リマシタ
ラバ、我國ノ殷富ハ期シテ待ツベキモノデアラウト存シマス、サウナリマシタナラバ幾億ノ
我國ノ負債モ、又國防ノ充實ノ如キモノ、是ハ他年ヲ期シテ爲シ得ラレルコトト信シマスレ
バ、私ハ今日此物價、殊ニ此米價ナドノ平準ヲ得ルヤウナコトニ政府ハ力ヲ入レ、サウシ
テ農家ヲシテ又利得ヲ得セシムルコトニ力ヲ入レルノハ、國家ノ安泰ヲ圖ルトコロノ大ナ
ル計デアルト信シマスル次第デゴザイマス、甚ダ粗漫デ意ヲ盡シマセヌガ、諸君ノ御倦怠
ヲ恐レテ、是デ降壇致シマス

（農商務大臣男爵牧野伸顯君登壇）

○農商務大臣（男爵牧野伸顯君） 唯今ノ武市君ノ御質問ニ御答致シマス、第一ノ
農業低利資金ノコトニ付キマシテハ、イヅレ其主管ノ大臣カラ答辯ナルコト、考ヘマス、
第二ノ政府ハ獨逸ニ於ケルガ如キ、地方農村ニ共同信用銀行ヲ設ケ、低利ナル資金ヲ
融通セシムルコトニ付、調査ヲ爲シタルコトアリヤ、アリトスレバ政府ノ之ニ對スル方針如
何、此事項ニ付キマシテハ唯今質問ニ對スル御説明モアリマシタガ、政府ニ於ケルマデハ
獨逸ノ地方ノ金融機關ニ對スル調査ハ之マデ致シテ居リマスデアリマス、然ルニ何レモ
其起リ、沿革、其國情ニ依リ、地方ノ當時ノ有様ニ依ッテ居ルコトデアリマシテ、之ヲ直ニ
我國ニ行フト云フコトニ付キマシテハ、見込ガ立タヌデアリマス、ヤハリ既ニ設立シテアリ
マスニコロノ日本ノ勸業銀行、農工銀行、拓殖銀行其他信用組合、或ハ其信用組合
ノ聯合會ノ如キ、既ニツレ／＼成立ッテ働イテ居ル機關モアリマスカラシテ、是等ヲ獎勵
致シテ、一層其用ヲ辨ズルヤウニ致ス方ガ宜シイト云フ考デアリマス、ソレカラ國有鐵道ノ

米穀賃金ノコトハ其所管ノ政府委員ヨリ説明致シマス、第四ノ政府ハ現今ノ米價ヲ過
當ト見ルヤ否ヤ、若シ過當ト見ラバ之ヲ緩和スル策ヲ有シテ居ルカ否ヤ、是ハ説明者
ノ御話ノ如ク、頗ル重大ナ問題デアリマス、然ルニ米價ノ過當デアルヤ否ヤト云フコトハ、複
雜ナ事情ニ依ッテ決セラルコトデアリマス、例ヘバ需用供給ノ關係、又資金等ノ關係、
極メテ廣イ範圍ニ亘リ、種々ナ事實ニ照シテ考ヘナケレバナラヌコト、今果シテ過當デア
リヤ否ヤト云フコトヲ經濟的二果シテ過當デアルヤト云フコトヲ斷言スルコトハ、未ダ今日
マデハ斷ニ於テハ、過當デアルト云フコトヲ斷言スルコトハ出來ヌト思ヒマス、是ハ今申
ス如ク一般ノ物價ノ關係ナルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌコト、思ヒマス、併ナガラ米
價ノ非常ナ騰貴ヲ致シテ居ル、從來餘利例ノナリ、未曾有ノ有様ヲ以テ騰貴ヲシテ居
ル、ソレガタメニ一部ノ國民ニ非常困難ヲ與ヘテ居ルト云フ事情ハ、十分ニ認メテ居
リマス、之ニ對スル緩和策ヲ執ルカ否ヤト云フコトニ付キマシタハ、政府ニ於ケルマデハ
折角調査中デアリマス、此場合ニ於テ此以上ノコトヲ申上ケルコトハ出來マセヌデアリ
マス、第五、取引所ノ制度ノ改善ニ付テノ御尋デアリマス、是ハ獨リ米穀取引所ノ關
係バカリデナク、此取引所ノ問題ハ一般ノ取引所ノ全體ノ制度ノ一部分デアリマシテ、
米穀取引所ノコトハ、此取引所ノ制度ガ今日ニ於ケルマデハ不完全ナ廉價アルト云フ
コトハ、ヤハリ同ク認メテ居リマス、是モ目下調査中デアリマス、即チ此不都合ノ點
ヲ改善スルト云フ目的ヲ以テ、今調査致シテ居リマス、成ベク早キ時期ニ於テ此改善
ノ方法ヲ講シテ、御相談ヲ致シタイト思ッテ居リマス

（大藏大臣山本達雄君登壇）

○大藏大臣（山本達雄君） 唯今ノ第一ノ農業改良ノタメニ低利資金ヲ尙増加スル
意思ナキヤト云フ御質問ニ對シテ御答致シマス、今日政府ハ農業發達ノタメニ資金
ヲ耕地整理、產業組合ト云フモノニ向ッテ五百萬圓、又小農ノタメニ五百萬圓、都合一
千萬圓ヲ供給シテ居リマスガ、固ヨリ此額ハ十分ナルモノトハ認メテ居リマセヌ、故ニ追
増加致シタイト云フ意思ハ十分ゴザイマス、併ナガラ之ヲ増スノ付キマシテハ其財源ト
シテハ郵便貯金ノ増加ニ待タナケレバナラヌデアリマス、追々國ガ發達シマシテ
節儉心ガ起リマシテ郵便貯金ガ増加致シマスレバ、ソレニ依ッテ漸次ニ其方ノ資金ヲ増
シタイト云フ意思デゴザイマス、之ヲ御答致シマス

（政府委員工學博士平井晴二郎君登壇）

○政府委員（工學博士平井晴二郎君） 武市君ノ唯今ノ御質問ノ第三、即チ米穀
ノ鐵道運賃ニ關スル件ニ付テ、御答致シマス、政府ハ此國民ノ糧食タル米穀ノ運賃
ヲシテ最モ廉カラシムル必要アリト認メテ、鐵道運賃ノ中最モ廉價ノ級ニ之ヲ充テ、居ルノ
デアル、而シテ鐵道國有以來、政府ノ方針トシテ總テノ運賃ヲ鐵道ノ經濟ノ許ス限リ、
低減ヲ致シテハ居リマスガ、今日ノ場合ニ於テ現今以下ニ之ヲ低減スルコトハ出來得ナ
イト云フ考ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

（居ラヌト呼フ者アリ）

○副議長（肥塚龍君） 質問第五、土地増價稅ニ關スル質問、千田軍之助君
（居ラヌト呼フ者アリ）

（居ラヌト呼フ者アリ）

○副議長（肥塚龍君） 質問者不在デゴザイマスカラ、是ヨリ日程ニ移リマス、日程第
一、陸軍作業會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第一 陸軍作業會計法中改正法律案（政府提出）

陸軍作業會計法中左ノ通改正ス
第二條第一項中「建物」ヲ「土地建物」ニ改ム
第三條第一項中「東京及大阪砲兵工廠」ノ下ニ「俸給諸給旅費廳費」ヲ加ヘ
「建物」ヲ「土地建物」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員岡市之助君登壇〕

○政府委員(岡市之助君) 今回陸軍作業會計法中ノ改正案ヲ提出致シマシタニ付テ、理由ノ大要ヲ申述セマス、是ハ東京、大阪兩砲兵工廠ハ今日マデ一種特別ノ作業會計法ヲ取ツテ居リマシタ、即チ職員ノ俸給諸給、廳費、旅費等ハ軍事費ヨリ支出ヲ致シテ居リマシタ、其他職工及作業ニ關係スルコトハ無論作業費カラ出シテ居リマス、土地ノ管理ニ付テモ、取除ケニナツテ居リマス、所ガ今日マデノ實驗ニ依リマシテ、頗ル不統一且不便、不利ノ弊ガゴザイマス、之ヲ純然タル作業會計ニ直シテ、願フ希望デゴザイマス、但シ之ガタメニ陸軍費ハ別ニ増加ハ致シマセヌ、又御協賛ヲ經マシタナラバ、四十六年度ヨリ實行致シタコト云フ者、四十六年度ノ豫算ヲ編成ノ關係ガゴザイマス、當議會ニ提出ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、御協賛ヲ願ヒマス

○副議長(肥塚龍君) 次ハ日程第二ニ移リマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 恆松君ノ發議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ恆松君ノ發議ノ通り議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、次ハ日程第三、鑛業法中改正法律案——武滿義雄君

第三 鑛業法中改正法律案(武滿義雄君提出) 第一讀會

鑛業法中改正法律案

第二條第一項中「石油、」ノ下ニ「可燃質天然瓦斯、」ヲ加フ

同條第二項中「但シ」ノ下ニ「可燃質天然瓦斯ハ總テ」ヲ加フ

〔武滿義雄君登壇〕

○武滿義雄君 鑛業法中改正法律案此改正法律案ノ目的ハ第二條第一項中ニ「石油」ト云フ鑛物ノ名稱ガアリマス、其石油ノ下ニ「可燃質天然瓦斯」ト云フ文字ヲ加ヘル、又同條第二項中「但シ」ノ下ニ「可燃質天然瓦斯ハ總テ」ト云フ文字ヲ加ヘル、現行法ニ於テハ此可燃質天然瓦斯ハ鑛物ノ中ヨリ除外サレテ居テ、其保護ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、御承知ノ如ク瓦斯利用ノ途ハ甚ダ浩汎デアツテ、其瓦斯ニ基ケル事業ハ其經營ノ如何ニ依リマシテハ、非常ニ公益ヲ増ス、即チ産業ノ開發、國力發展ノ上ニ利益アルコト、私ハ考ヘルノデアリマス、然レニ現行法ノ中ニ於テハ鑛物ノ中カラ可燃質天然瓦斯ガ除外サレテ居ルコト云フコトハ、甚ダ産業發展ノ上カラ見マシテモ、亦國力開發ノ上カラ見マシテモ、是ハ法律ノ不備デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此瓦斯ヲモハ如何ナルモノニ利用セラレテ居ルカト申シマスレバ先ニ申シマシテ通り甚ダ浩汎デアル、今其二三ノコトヲ申述セマセウナラバ

〔副議長肥塚龍君議長席ヲ退キ、議長大岡育造君復席ス〕

○武滿義雄君 電氣ノ原動力、燃料、炊事、一般燈火用、蒸氣ノ原動力、硝子製造、陶磁器製造、其他工業用燃料、此ノ如ク需用ノ途ガ甚ダ浩汎デアル、何故ニ之ヲ現行法カラ除外シテ居ルカト云フコトヲ考ヘルト、油層ニ密接ノ關係アルコトヲ瓦斯ハ鑛業法ノ第二條第二項中ニ認メラレテ居ル、然レニ油層ニ密接ノ關係ナキモノハ除外セラレテ居ルコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ油層ニ密接ノ關係ガナイ所ニハ可燃質天然瓦斯ハナイモノデアラウト、斯ウ云フコトヲ當局者ハ考ヘテ居リハセヌカト思フ

デ、或ハ又アルト云フコトヲ知リツ、モ、法律上鑛物ト認メテ、サウシテハ保護スルダケノモノデアリナイト云フコトヲ考ヘテ居ルノカモ知レマセヌケレドモ、今日テハ段々此天然瓦斯ヲ掘採サレマシテ、發生ノ場所ニ乏シカラヌデアル、其場所ヲ舉ゲテ申シマセウナラバ、秋田縣南秋田郡ノ濁川村ノ如キ、山形縣ノ楢岡町附近ノ如キ、印旛沼附近ノ如キ、千葉縣下茂原ニ於ケル如キ、鹿兒島縣ノ敷根村ニ於ケル如キ、ツレノ、天然瓦斯ガ漏出シテ居ルノデアル、所ガ此發生シテ居ル場所ハ油層ニ密接ノ關係アル所デアルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ議論デアリマス、私ノ知り得ル限りニ於テハ、今申述セマシタル箇所ノ分ハ油層ニ密接ノ關係ガアル所デアリナイと思フ、併ナガラ其中デモ千葉縣下茂原ニ於ケルモノ、如キ、鹿兒島縣下ニ於ケルモノノ如キハ、確ニ油層ニ密接ノ關係ハナイモノデアル、ツレバ法律ノ上ニ於テ認メテ居ラナイカラシテ、適此瓦斯力ヲ利用シテ、或ハ硝子製造業ヲ起ストカ、或ハ陶磁器製造業ヲ營業ト云フヤウナ志アル者ガ居リマシテモ、法律上ノ保護ガナイ以上ハ、甚ダ危險デアルカラ、從テ多大ノ資本ヲ投ジテ大計畫テ經營シヤウト云フコトノ人ガナイデアル、是ハ法律上ノ不備デアツテ、甚ダ私ハ遺憾ナコト、思フデアリマス、縱シ是ガ十分ナルモノガナイト致シマシテモ、此可燃質天然瓦斯ノ一項ヲ加ヘマシタコト何等妨ヲ及ボサヤウナコトハナイ、或ハ反對スル者ハ言ハシ、ツレハ是ニ特權ヲ與ヘテ、鑛物ノ一ツト認メル場合ニ於テハ此法律ニ依ツテ濫リニ特權ヲ與ヘル故ニ、公益上妨害ヲ與ヘルト云フコトヲ言ハルカモ知レマセヌカ、ツレハ鑛業法ノ中ニ於テツレノ規定ガアツテ、監督官廳トカ、或ハ一人ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌト云フ規定ガアリマス、サウ云フ場合ハ毫モナイコト、私ハ信ジマス、此ノ如キ理由ニ依ツテ本案ヲ提出シタ所以デゴザイマス、何卒御贊成アラントヲ希望致シマス

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレタシ

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカ、本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第四、國有土地森林原野下戻法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、岡田泰藏君

第四 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田泰藏君外一名提出)

國有土地森林原野下戻法中改正法律案

第一條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ土地森林原野ニ於テ主產物ヲ採收シタル者ハ所有ノ事實アリタルモノト見做ス但シ他ニ所有者アリト認ムヘキ證據アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第一條第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ改ム

第二條第四號中「分收」ヲ「收得」ニ改ム

〔岡田泰藏君登壇〕

○岡田泰藏君 國有土地森林原野下戻法中ニ少シバカリ改正ヲ致シタイタメニ本案ヲ提出致シマシタ、同法ノ第一條第一項ノ次ニ斯様ナ條文ヲ加ヘタイト思フ、ツレハ前項ノ土地森林原野ニ於テ主產物ヲ採收シタル者ハ所有ノ事實アリタルモノト看做ス但シ他ニ所有者アリト認ムヘキ證據アルモノハ此ノ限ニ在ラス、此外此改正ニ連レマシテ字句ノ修正ニ箇所バカリ要シマス、此改正ノ理由ハ下戻法ノ請求ノ權利ヲ擴張致シマス、現在ニ於テ農商務省ノ處分、續イテ行政裁判所ノ判決ガ如何ニモ法理ニ適シテ

居ラヌ判決ヲ數多ク重テ參ッテ居リマス、其點ハ土地ノ長ク使用シ、且收益ヲシテ居ルモノハ所有ト推定スベキガ當然ノ道理アル、併ナカラ他ニ所有者ガアル管理權ノ發動トシテ、或ハ使用收益權ヲ持ツト云フ場合ナクハ、使用シ且收益シテ居ルト云フ事實ハ之ヲ取ツテ以テ所有ノ事實アルモノト推定スベキガ當然ノ道理アルト思フ、是ハ實際ニモ適スル説アルト思フ、所ガ行政裁判所ニ於キマシテ、或ハ其使用收益ト云フコトハ、管理權ノ結果トシテサウ云フコトガ知レヌカラ、故ニ所有ト見ルコトガ出來ナイ、斯様ナ認定ヲ下シテアリマス、此判決例ガ數多ク重ナリマシテ、殆ト法律ト同ジ效用ヲ以テ先例トシテ、茲ニ尙二百餘ノ未決ノ事件アルモノニ對シテモ、之ヲ應用サレト云フ現在デアリマス、ソレ故ニ本員等ノ考ヘマスルトコトハ、此場合ニ於テ此法律ヲ改正ヲシテ、法理ノ正當ナルコトヲ主張スルト云フコトハ現在定マツテ居ラス、訴訟事件ニ對スル下戻權ノ正當ナルコトヲ正シテ往クト、併セテ從來ノ不幸ナル判決ヲ受ケタモノニ對シテモ、他日相當ニ救済ノ途ヲ與ヘベキトコロノ事柄ニナルト思ヒマス、唯是ハ徒ニ此主張ヲ打ちヤツテ、總テノ判決ガ終了サレタ後ニ之ヲ讓ルト云フコトハ言ウテ行ハレザルコトノ結果ニナルト思ヒマス、今日ハ此改正ヲ請求スベキ、適當ノ時機ト考ヘマシテ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス

○恆松隆慶君 本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第五、家畜市場法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——漆昌巖君

第五 家畜市場法中改正法律案(漆昌巖君提出) 第一讀會

家畜市場法中改正法律案

第二條、第三條、第四條、第五條二項、第七條二項、第八條、第九條、第十條、第十四條、第十五條、第十六條中「地方長官」ノ下ニ「東京ニ於テハ警視總監」ヲ加フ

第七條中「家畜ノ賣買交換ヲ業トスル者」ヲ「家畜ニ關スル營業者」ニ改ム

○漆昌巖君 極ク簡單デゴザイマス、唯今日程ニナツテ居リマス、家畜市場法中改正法律案、是ハ極ク簡單デゴザイマス、恐クハ此法律制定ノ當時當局者ガ氣ガ付カナカッタデアラウト思フ位デゴザイマス、同法第二條、第三條、第四條、第五條ノ第二項、第七條ノ第二項、第八條、第九條、第十條、第十四條、第十五條、第十六條中「地方長官」ノ文字ノ下ニ東京府ニ在リテハ警視總監ノ十一字ヲ加ヘル、斯ウ云フデゴザイマス、ソレカラ是ハ總テ斯ウ云フ家畜ニ關スルコトハ警視廳ガ東京府ニ在テハ、屠畜、賣肉、畜舎構造、牛乳搾取、馬車、牛車、獸疫豫防等、總テ警視廳ノ所管ニ屬シテ居ル、然ルニ市場タケ東京府ニアルノデアル、甚ダ取締ガ能ク行居カヌノデ、此營業者ノ迷惑ノミナラズ、延イテ公衆ノ衛生ニモ關係アルモノト信ジマス、次第デ、故ニ唯今申シマシタ各條ノ下ニ東京府ニ在テハ警視總監ノ十一字ヲ加ヘルト云フ是ガ改正ノ趣意デアリマス、同法第七條中ニ「家畜賣買交換ヲ業トスル者」トアリマス、之ヲ「家畜ニ關スル營業者」ト改正ヲ致シタイ、其趣意ハ本法第二十條、二十一條ノ中ニ「家畜ニ關スル營業者」ト云フ文字ガアリナガラ、其文字ニ該當スルコトガ出來ナイ、思フニ是ハ當局者ガドウ云フ考デゴザイマシタカ知リマセヌカ、此解釋上家畜賣買交換ヲ業トスル者ト云フケデハ、二十條、二十一條ノ家畜ニ

關スル營業者ト云フモノニ該當スルコトガ出來マセヌノミナラズ、是ガタメニ此解釋上大變狄小シテ用ヲナサヌト云フノデゴザイマス、故ニ唯今ノ如ク改正ヲシタイト云フノデゴザイマス、イブレ詳シイコトハ又委員會デ充分ニ説明致シマスカラ、本案ハ是デ宜シク御贊成ヲ願ヒタイ

○恆松隆慶君 本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案モ議長指名九名ノ委員ニ附託スルコトニ決シマス、日程第六、辯護士法改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——提出者岡田泰藏君

第六 辯護士法改正法律案(岡田泰藏君外十一名 提出) 第一讀會

辯護士法改正法律案

第一章 辯護士ノ資格及職務

第一條 辯護士ハ當事者ノ委任ヲ受ケ又ハ裁判所ノ命令ニ基キ法律ニ關スル職務ヲ行フモノトス

第二條 辯護士タラムト欲スル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一 帝國臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル男子タルコト

第二 辯護士試験規則ニ依リ試験ニ及第シタルコト

第三 辯護士試験ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム但シ試験委員ハ司法省高等官判事檢察事務官辯護士中ヨリ之ヲ銓衡ス

第四條 判事檢察事務官辯護士タリシ者ハ試験ヲ要セスシテ辯護士タルコトヲ得

第五條 左ニ掲グル者ハ辯護士タルコトヲ得ス

第一章 第二編第一章第二章第三章第五章第七章第八章第九章第十章第十一章第十二章第十三章第十五章第十六章第十七章第十八章第十九章第二十章第二十一章第二十二章第二十三章第二十五章第二十六章第二十七章第二十八章第二十九章第三十章第三十一章第三十二章第三十三章第三十四章第三十五章第三十六章第三十七章第三十八章第三十九章第四十章ノ規定ニ依リ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者

第二章 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

第三章 懲戒處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者又ハ本法ニ依リ除名セラレタル者

第二章 辯護士ノ權利及義務

第六條 辯護士ハ法廷ニ於テ職務上陳述シタル言語ニ付其ノ責ヲ負フコトナシ

第七條 辯護士ハ正當ノ理由アルニ非サレハ司法大臣又ハ裁判所ノ命シタル職務ヲ行フヲ辭スルコトヲ得ス

第八條 辯護士ハ左ニ掲グル事件ニ付其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第一 職務上相手方ノ協議ヲ受ケテ之ヲ贊助シ又ハ委任ヲ受ケタル事件

第二 官吏公吏在職中取扱ヒタル事件

第三 仲裁手續ニ依リ仲裁人ト爲リテ取扱ヒタル事件

第三章 辯護士會

第九條 各地方裁判所毎ニ辯護士會ヲ置ク

第十條 辯護士會ハ司法大臣之ヲ監督ス

第十一條 辯護士會ハ之ヲ法八トス

第十二條 辯護士會ニ會長及副會長ヲ置ク

第十三條 辯護士ハ其ノ會ヲ代表ス

第十四條 辯護士會ハ左ニ掲グル事項ヲ定メ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 會長副會長其ノ他役員ノ選舉及其ノ職務

第十六條 辯護士會ニシテ本法又ハ辯護士會則ニ違反ノ處爲アルトキハ其ノ

第十七條 辯護士ニ對スル懲戒事件ニ付テハ各辯護士會ニ五名以上ノ懲戒

第十八條 懲戒裁判ニ付テハ判事懲戒法及民事訴訟法第三十二條第三十三

第十九條 懲戒罰ハ左ノ四種トス

第二十條 所屬辯護士會ニ懲戒裁決ニ不服アル者ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタ

第二十一條 覆審裁判ハ大審院判事及辯護士ヲ以テ組織シタル委員ニ於テ

第二十二條 委員ノ數ハ大審院判事四名辯護士三名トシ司法大臣之ヲ任命ス

第二十三條 覆審ニ關スル裁判手續ハ司法大臣之ヲ定ム

第二十四條 辯護士ニ非スルシテ法律ニ關スル事務ヲ取扱フコトヲ業トスル

第二十五條 本法ハ明治四十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條 現在ノ各辯護士會ハ本法ニ依リ辯護士會ト看做ス

第二十七條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第二十八條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第二十九條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第三十條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第三十一條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第三十二條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第三十三條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第三十四條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第三十五條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第七號ニ依ル

第二十九條 本法施行ニ必要ナル事項ハ司法大臣之ヲ定ム

第三十條 明治二十六年法律第七號ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十一條 辯護士法改正法律案ハ東京辯護士會ニ於キマシテ委員ヲ選シテ

第三十二條 辯護士會ニ於テハ其ノ役員ノ選舉及其ノ職務

第三十三條 辯護士會ニシテ本法又ハ辯護士會則ニ違反ノ處爲アルトキハ其ノ

第三十四條 辯護士ニ對スル懲戒事件ニ付テハ各辯護士會ニ五名以上ノ懲戒

第三十五條 懲戒裁判ニ付テハ判事懲戒法及民事訴訟法第三十二條第三十三

第三十六條 懲戒罰ハ左ノ四種トス

第三十七條 所屬辯護士會ニ懲戒裁決ニ不服アル者ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタ

第三十八條 覆審裁判ハ大審院判事及辯護士ヲ以テ組織シタル委員ニ於テ

第三十九條 委員ノ數ハ大審院判事四名辯護士三名トシ司法大臣之ヲ任命ス

第四十條 覆審ニ關スル裁判手續ハ司法大臣之ヲ定ム

第四十一條 本法ハ明治四十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十二條 現在ノ各辯護士會ハ本法ニ依リ辯護士會ト看做ス

第四十三條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第四十四條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第四十五條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第四十六條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第四十七條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第四十八條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第四十九條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第五十條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

第五十一條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其

〔西谷金藏君登壇〕

○西谷金藏君 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、農工銀行法ノ第一條ノ末文ニ株式ノ金額ハ二十圓トアルヲ五十圓以內ト改ムルヲデゴザイマス、御參考ノためニ農工銀行法ノ第一條ノ全文ヲ申上ゲマスレバ「第一條農工銀行ハ農業工業改良發達ノため資金ヲ貸附スルヲ以テ目的トスル株式會社ニシテ其資本金ヲ二十萬圓以上トシ各株式ノ金額ヲ二十圓トス」斯ウナッテ居ル此二十圓ハ「二」字ヲ「五」ト改メ「圓」ノ下ニ「以內」ノ二字ヲ挿入スルヲデゴザイマス、諸君御承知ノ通り農工銀行法ハ明治二十九年ノ發布ニシテ、爾來十七八年其間經濟界ハ非常ニ膨脹致シマシタメニ、各銀行共ニ當初ノ資金ヲ以テ營業スルコト能ハズシテ、近時何レモ増資ヲセラレテ居ル、此増資ヲスル場合ニ於テ二十圓ノ少額ナル株式ニテハ銀行營業者及株主共ニ不便ヲ感ズルガ故ニ、之ヲ五十圓以內ト改メタイト云フヲデゴザイマス、御審議ノ上賛成アラシコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君

本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君)

恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(大岡育造君)

御異議ガナケレバ本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシテ、日程第八、產牛馬組合法改正法律案、第一讀會ノ續、委員長高橋嘉太郎君

第八 產牛馬組合法改正法律案(高橋嘉太郎君外三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔高橋嘉太郎君登壇〕

○高橋嘉太郎君 產牛馬組合法改正法律案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、本委員會ハ二回開會致シマシテ、政府委員トノ間ニ屢々質問應答モゴザイマシテ、ソレハ省キマシテ委員會ハ慎重審議ノ末、之ヲ修正シ、或ハ削除致シマシテ決議シマシテ、其修正シタトコロハ第二條ノ末文「アリマスルコト」ヲ「家畜市場」ト云フ四字ヲ削リマシテ、之ヲ「騾場」ト修正致シマシテ、次ニハ第四條ノ但書ニ「特別ノ狀況ニ依リ地方長官ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムルモノ」ハ此限ニアラス」ト云フヲ削除致シマシテ、是ハ總テ產牛馬ノ生産事業ヲ營ムモノハ此組合ニ加入センケレバナラヌト云フコトニ改メタノデゴザイマス、ソレカラ第十五條ノ材料ノコトデゴザイマスガ、之ニ付テハ多少ノ議論モゴザイマシタケレドモ、結局改正案ノ通り二百圓以下ノ材料ニ處スル、斯ウ云フコトニ可決ニナリマシテゴザイマス、是ニ對スル政府ノ意見ヲ概括シテ其要點ダケヲ示スト申上ゲテ置カウト思フ、政府ガ之ニ對スル意見ハヤハリ政府ニ於テモ現行法ノ不完全ニシテ改正センケレバナラヌト云フ、必要ハ認メテ居ル、改正ノ必要ヲ認メテ居テ、今日其調査ヲシツ、アル、併ナガラ其提出ノ時期ハ次ノ議會ニ提出スルカ、或ハ何レノ時期ニ提出スルカ、ソレハ未定デアル、斯ウ云フ答辯デゴザイマス、併ナガラ委員會ニ於テハ本改正案ハ現行ノ法律ニ對シテハ萬々優ルトコロガアルト云フ意見ノ下ニ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デゴザイマス、願クバ滿場一致ヲ以テ可決アラシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君)

御異議ガナケレバ本案ハ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ決シマス

○議長(大岡育造君)

御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開イテ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

產牛馬組合法改正法律案

第二讀會

○恆松隆慶君

ドウカ讀會省略ヲ以テ二讀會ヲ決定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君)

讀會省略ニ御異議アリマセヌカ

○議長(大岡育造君)

御異議ナシト認メマス、因ッテ本案ハ讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決セラレタルモノト宣告致シマス、日程第九、水道條例中改正法律案第一讀會ノ續——委員長橋本久太郎君

第九 水道條例中改正法律案(井上角五郎君外八名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔橋本久太郎君登壇〕

○橋本久太郎君 水道條例中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、本案ニ對シマシテ委員會ハ兩回開會キマシテ、政府委員ノ出席ヲ求メテ提出者竝ニ政府委員間ニ於キマシテ十分ニ質問應答等ヲ盡シマシテ其結果トシテ大分修正ヲ加ヘマシタガ、其修正シタモノハ御手許ヘ回ジテ居リマスカラ悉ク此所デ申上ゲルコトヲ省キマセウト思ヒマス(贊成々々)ト呼フ者アリ即チ此提出セラレマシタ條例改正法律案ト御對照下サタナラバ、悉ク判明致シマセウト思ヒマス、要スルニ此條例改正ヲ致シマシテ初メ今日市町村ニ於テ政府ノ補助ヲ得ズテ其補助ヲ得ズト數年ノ間事業ハ停滯シテ居ルモノ、竝ニ町村ニ於テ其實力ニ堪ヘズシテ此敷設ヲ要スルコトハ切ナルモノ拘ラズ、其事業ガ出來ズト居マスルモノ等ニ對シマシテ其團體外即チ此公共團體外ニ於テ相當ノ企業者ガアツタ場合ニ於テハ其團體ニ之ヲ相當ト認メテ異議ノナイ場合ニ於テハ此企業ヲ許スルコトノ途ヲ廣ク開ケテ、サウシテ今日マデ此滯滞シテ居ル事業ヲ一日モ速ニ敏活ニ完備ニサスコトニ致サウト云フヲ改正シテ外ナラヌヲデゴザイマス、此ノ如クシテ初メテ經濟上ニ、衛生上ニ、竝ニ火災豫防上等ニ於キマシテ、非常ナ利益ヲ與ヘテ、市町村ノ發展進步等ニ遺憾ナカラシムルヤウナコトニシヤウト云フノガ、即チ本案改正ノ趣意デ、又修正シマシタ趣意デゴザイマスカラ、政府委員ニ於テモ無論全然之ニ同意セラレ、委員會ニ於テモ全會一致ヲ以テ可決シテ居リマスル次第デアリマスカラ、願クハ滿場諸君ニ於テモ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

〔採決ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君)

本案ヲ二讀會ニ付スルヤ否ヤヲ決シマス

○恆松隆慶君

直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス、委員長報告通り……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君)

恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

水道條例中改正法律案

確定議

○議長(大岡育造君)

御異議ガナケレバ委員長報告通りニ本案ハ可決確定致シマス、日程第十、關稅定率法輸入稅表中改正法律案第一讀會ノ續、委員長武藤金吉君

第十 關稅定率法輸入稅表中改正法律案

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔武藤金吉君登壇〕

○武藤金吉君 委員會ノ成績ヲ報告ヲ致シマス、委員會ニ於キマシテハ十分ニ審査

ヲ致シマシタトコロ、政府ハ六藏省ニ於テモ、農商務省ニ於テモ、全然同意デアリマス、此鹽化加里ハ彼ノ燃料ノ原料トナル格魯兒酸加里ヲ製造スル原料デアリマシテ、唯今格魯兒酸加里ハ現二百二十餘萬圓ノ輸入ガアルデアリマス、サウシテ隣年一千万以上外國ニ輸出ヲ致シテ居ルコロノ原料ナルモノデアリマシテ、此格魯兒酸加里ガ既ニ無稅アル以上ハ此鹽化加里ノ無稅タルコトハ少シモ差支ナイデアリマス、大藏省ニ於テハ今マデ輸入ニナッテ居リマセヌカラ收入ノ點ニ於テモ少シモ減ズル憂ハナイデアリマス、此ノ如ク致シマシテ委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、此段御報告ニ及ヒマス

○議長(大岡育造君) 本案ヲ以テ二讀會ニ付スルヤ否ヤヲ諮リマス

○恆松隆慶君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

確定讀

○議長(大岡育造君) 御異議ハナシト認メマス、因ッテ本案ハ可決確定致シマシタ、日程第十一、高等工業學校設置ニ關スル建議案、鷺田土三郎君

第十一

提出) 高等工業學校設置ニ關スル建議案(鷺田土三郎君)

高等工業學校設置ニ關スル建議案

工業就中海外輸出工業ノ發展獎勵ハ最現今ノ急務ナリトス
福井縣ハ海外輸出二重ノ製造地ニシテ毎年ノ產額二千萬圓以上ニ及ヒ我カ輸出絹織物中最多額ヲ製織ス然レトモ其ノ品類白地ノ半製品ニシテ輸出ノ後外國ニ於テ染染其ノ他ノ加工ニ依リ消費セラルハ主トシテ製造地ニ於ケル染織ノ知識未熟ニシテ高尙ナル技術者無キニ由ラスハアラス故ニ政府ハ高等工業學校ヲ福井縣ニ設置シ獨リ織物ノミナラス同縣ニ來ル漆器製紙等ノ技術者ヲ養成シ以テ海外貿易ヲ増進シ國家ノ富源ヲ涵養セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○鷺田土三郎君 本席ヨリ簡單ニ說明ヲ申上ゲマス、本案ハ福井縣ハ高等工業學校ヲ設置セラレンコトヲ希望スルト云フ建議案デアリマスガ、是ガ二十七議會ニ於キマシタモ滿場一致ヲ以テ通過シタ議案デアリマスカラ詳細ナコトハ委員會ニ於テ説明致シマシタ、此所ニ於テハ説明ヲ略シマス

○恆松隆慶君 本案ハ曩ニ金澤高等學校ヲ置イテ吳レト云フ建議ガ出マシタ、其委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ恆松君ノ動議ノ通りニ決シマス、日程第十二、石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、齋藤二郎君

第十二

提出) 石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案(齋藤二郎君)

石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案

石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案
石油引火點規則ハ明治十四年八月十三日太政官布告第四十號(石油取締規

則)ヲ以テ公布セラレタルモ明治十六年三月十八日太政官布告第十號ヲ以テ施行日限ヲ無期延期シ遂ニ今日ニ至レリ政府ハ火災原因ノ危險率ニ鑑ミ速ニ本規則ヲ改定實施セムコトヲ望ム

(齋藤二郎君登壇)

(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○齋藤二郎君 私人一體簡單ガ非常ニ好キデアリマスガ、是ハ實ハ帝國議會始ッテ以來初メテ諸君ニ御紹介致シマスヤナ案デアリマス、文句ハ變ナ案デアリマスガ、議長ノ仰シヤッタハ少シ間違ッテ居リマスガ、石油引火點規則改定實施ニ關スル建議案ト斯ウナルデアリマス(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)是ハ實ハ私ハ其石油ニ全ク素人デアリマス、併シ私ノ友人ハ實ニ昨年來此問題ヲ研究シテ、研究ノ結果ヲ私ニ託シテ代辯セシムルヤウナデアリマスガ、内容ハ最モ重大ナモノデアリマス、ツレバ大體ハ此規則ト云フモノハ議論ノナイコトハナイアッタデアリマス、明治十四年八月十三日太政官布告第四十號トシテ是ハ世ノ中ニ公ニナッタモノデアリマス、所ガ段々此規則ノ施行ガ延ビ延ビナリマシテ遂ニ十六年ニ太政官布告第十號ト云フモノヲ以テ全ク此石油ニ關スル取締規則ト云フモノハ今日マデ實施ニナラス、此内容ノ原因ト云フモノハ何デアアルカト云フト、私ノ承タトコロニ據レバ、外國ノ壓迫ガアッタ言ヒ、或ハ日本石油ノ產出額ニ付テ多少ノ此面倒ヲ見ヤラスト云フト、此石油業界ノ發達ガ鈍ナルカラシテ、此緩急ノ度ヲ調和セシムルタメニ延期シタトモ聞キマス、併シ重ナル理由ハ外國側ノ壓迫ニ依リテ時ノ政府ガ引込シテ之ヲ實施スル勇氣ガナカッタヤウニ聞イテ居リマス、斯ク論ジ來ルト頗ル此事ノ重大ナルコトガ分ルカト思ヒマス、——私自身ニ火ヲ點ケル譯デアリマセヌカ、此規則ハサウ云フ意味ニ依ッテ今日ノ此世ノ中ニ於テハ速ニ規定シナケレバナラス、ツレバナイト屋ノ新聞紙上デ御覽ニナルデアリマセウガ、日本ノ石油界ニ於ケル幾多ノ跋扈ト云フモノハ吾々ハ眼前ニ見ナガラ帝國政府ニ於キマシタ、此石油取締ニ關シテ所謂「フラッシング、ポイント」取締規則ナキガ故ニ、石油界ニ幾多ノ橫暴ヲサレタモ「トラス」ヲサレシメ、値段ヲ勝手ニ上ゲマシタモ、其實内容ノ惡イモノヲ賣ラレタモ、吾々ハ默シテ居ルコト云フ結果ヲ見ルデアリマス、其故ニ理由書ニハ詳シク書イテ置キマシタガ、「ラッシュ」カラ起ル失火率ト云フモノハ恐レベキ統計ヲ示シテ居リマス、私ノ參考第一號書中ニアル通り洋燈、火鉢灰及灰殻ト云フ點等ヲ御參考下ス、他ノ幾多ノ原因ヲ見ル、實ニ八分ノ一乃至十分ノ一ヲ含メテ居ル、是ハ東京ノ如キ瓦斯若クハ電燈設備ノ十分ナル警視廳管内デモ此ノ如クデアリマス、其故ニ斯ウ云フ設備ノ無イ地方ニ於テハ此率ガ最モ高マルコトハ明カデアリマス、私ノ承タトコロニ依レバ此原因ハ立派ナ石油デアラナラバ宜イガ、其中ニ揮發油若クハ重油ヲ混ジテ、全ク純粹ノ石油ヲ賣ラヌト云フ結果デアリマス、英國ノ「エーベル」ト云フ人ノ特許ニ係ル試驗器ヲ用井レバ、之ガ惡イ石油デアルト云フコトガ直ニ發見サレルト云フコトデアリマス、明治十六年太政官布告第十號ノ實施ヲ政府ニ迫レバ宜イデアリマスケレドモ、今日ノ日本ニテハ御承知ノ通り臺灣、樺太及朝鮮ヲ合併シテ我國ニナッタ以上ハ、溫帶國モアリマスレバ、此ノ極ク寒イ所モアリマス、一樣ノ検査法ヲ以テ法律ヲ極メルコトハ出來マセヌ、或ル程度ノ餘裕ヲ取ラナケレバナラス、是ハ立派ナ學者若クハ技師ガ寄ッテ引火點ヲ極メナケレバナラス、其故ニ私ハ直ニ布告ノ實施ヲ政府ニ迫ラナイデ、寧ろ政府ニ期間ヲ與ヘテ政府ヲシテ立派ニ引火點ヲ制定シテ、吾々ニ向ッテ協賛ヲ求メ來ラシムル考ヲ以テ、政府ハ御調アッテ、此案ヲ提出サレタイト云フデアリマス、之ヲ讀ムゲマスト引火點ノ度合ハ混雜デアリマスカラ、是ハ參考第三號トシテ議長ノ許可ヲ得テ、速記録ニ附ケマス、尙此日本ノ今日ノ石油產出高ハ四百三十萬石デアリマスガ、帝國内ニ於テ是ハ

燃料バカリデナク、動力ノタメ用井テ居ル消費高ガ四千万石ト聞及ヒマス、決シテ是ハ輕々ニ看過スベキ問題デナイノデアリマス、宜シク此案ニ賛成セラレテ政府モ亦吾々ノ云フコトヲ宜ク聽イテ、此率等モ調ベテ、速ニ第二十九議會ニ於テ間達ナク、此壇上ニ政府ガ提出セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

〔參照〕

凡ソ引火點ヲ測定スルニハ印度ノ如キ熱帶國ニ於テハ他帶國ニ比シテ稍低ラ例トス例之ハ英國ニテ華氏七十二度ニ引火スル燈油ハ印度ニテ六十八度ニ引火スルガ如シ故ニ引火點ヲ制定セシニハ先ヅ一國ノ溫度ヲ基礎トセザルベカラズ今歐米各國ノ定ムル所ヲ舉ゲンニ獨乙ニテハ攝氏二十一度露國ニテハ攝氏二十八度佛國及瑞西ニテハ攝氏三十五度英國ニテハ華氏七十三度(攝氏二十七度)加奈陀ニテハ華氏九十五度(攝氏三十五度)合衆國ニテハ華氏九十九度半(攝氏三十七度半)ヲ以テ最低引火點トセリ斯ノ如クナルヲ以テ南熱帶地ノ臺灣ヲ領シ北千島樺太ノ如キ寒帶地ヲ領スル我國ニ在ッテハ必ズシモ何度ト限リタル引火點ヲ定ムルハ或ハ困難ナルベク故ニ適當ナル引火點ヲ定メタル上ニ幾分ノ餘裕ヲ設クルノ必要アリ

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 恆松君ノ勸諭ニ御異議アリマセヌカ
○議長(大岡育造君) 呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコト決シマス、日程第十三、山陰高等農林學校設置ニ關スル建議案

第十三 山陰高等農林學校設置ニ關スル建議案(恆松隆慶君提出)

山陰高等農林學校設置ニ關スル建議案

山陰高等農林學校ノ設置ヲ望ムト云フ建議案ハ、是ハ山陰道ノ國勢ヨリ觀マシテモ、土地ノ狀況ヨリ察シマシテモ、農林學校ガ最も必要ナル、又交通ノ便モ開ケマシテ、今ハ此方面ハ十年前以前ノ山陰道トハ大ニ趣ヲ異ニシテ居リマシテ、農業ニ於ケル教育ノ發達ト共ニ該道ノ開發ヲ期スル上ニ於テ、此農林學校ハ頗ル大ナル好結果ヲ奏スルノデアリマス、然ルニ願フ文部省直轄ノ經營學校ノ配置ヲ見マスニ、各地方皆ツレツレ各々種學校ガ設立セラレテアルニ拘ラズ、山陰道ニ於テハ一モ此文部省直轄ノ學校ハ無イノデアリマス、是非相當ノ調査ヲシテ設置セラレタイト云フコトヲ希望シマス、此提出ノ理由ハ十分申述ベヤウト考ヘテ居リマスガ、今日ハ隨分質問演說モ數多クアリ、其他ノ法案モ多クゴザイマシタカラ、其間ニ私ガ簡單ニ述ベヤウト思フコトヲ、此席デ鉛筆ヲ以テ大要ヲ認メマシタカラ、ドウカハ議長ノ許可ヲ得テ、速記録ニ

右建議ス

○恆松隆慶君 極ク簡單ニ此席ヨリ申述ベヤウト思ヒマス、唯今ノ議題ニ上リマシタ

山陰道ニ高等農林學校ノ設置ヲ望ムト云フ建議案ハ、是ハ山陰道ノ國勢ヨリ觀マシテモ、土地ノ狀況ヨリ察シマシテモ、農林學校ガ最も必要ナル、又交通ノ便モ開ケマシテ、今ハ此方面ハ十年前以前ノ山陰道トハ大ニ趣ヲ異ニシテ居リマシテ、農業ニ於ケル教育ノ發達ト共ニ該道ノ開發ヲ期スル上ニ於テ、此農林學校ハ頗ル大ナル好結果ヲ奏スルノデアリマス、然ルニ願フ文部省直轄ノ經營學校ノ配置ヲ見マスニ、各地方皆ツレツレ各々種學校ガ設立セラレテアルニ拘ラズ、山陰道ニ於テハ一モ此文部省直轄ノ學校ハ無イノデアリマス、是非相當ノ調査ヲシテ設置セラレタイト云フコトヲ希望シマス、此提出ノ理由ハ十分申述ベヤウト考ヘテ居リマスガ、今日ハ隨分質問演說モ數多クアリ、其他ノ法案モ多クゴザイマシタカラ、其間ニ私ガ簡單ニ述ベヤウト思フコトヲ、此席デ鉛筆ヲ以テ大要ヲ認メマシタカラ、ドウカハ議長ノ許可ヲ得テ、速記録ニ

全部載セテ貰ヒタイ、尙文部省官轄學校ノ數及所在地ノ取調ベタモノモ此處ニアリマス、併セテ參考トシテ載セテ貰ヒタイノデアリマス、此速記ヲ諸君ニ於テ御覽下サレタナラバ、如何ニモ山陰道ニハ一ノ實業學校ヲ置クノガ、該道ノ人文發達ノ上ニ於テモ、亦學校配置ノ權衡上ニ於テモ適當ナルモノデアアルト云フコトハ、諸君ハ定メシ御同情下サルコトニ信ジマス、願クハ本案ハ委員ニ付託セラレテ十分ニ審査アランコトヲ切ニ希望致シマス、尙其委員會ニ於テ詳細ノ理由ハ申述ベヤウト思ヒマス

〔參照〕

諸君御承知ノ如ク、山陰道ノ地タル從來交通ガ不便デアリマシタガ爲メニ、各般ノ事物ガ他ノ方面ニ比シテ著シク後レツ、アツタノデアリマス、教育ニ對スル設備ノ如キモ即チ其一ツデアリマス
諸君、我國ハ二大戦捷ノ後ヲウケテ、益々國運ノ發展ヲ計ランガタメニ諸般ノ事柄ニワタリテ積極的計畫ヲ見タノデアアルガ、中ニモ教育ニ對スル施設ノ如キハ所謂戰後經營ノ一ツトシテ、大ニ之ガ振興ヲ計ラレタノデアリマス、其爲メ大學ヲ始メトシ、或ハ高等中學トカ、又ハ高等師範トカ、其他各種ノ學校ガ順次各地方ニ増設セラレタノデアアル

殊ニ國力ノ充實ヤ、國富ノ増進ヲ計ルニハ、生産ノ發達實業ノ進歩ニ俟タネバナラヌト云フノデ、最モ此方面ニ意ヲ注ギ、先ヅ實業思想ノ涵養人物ノ養成ノ急務ナルヲ認メタル結果トシテ、實業教育ノ獎勵發達ニ大ニ意ヲ用ヒタノデアリマス、之ガタメニ、新タニ設置セラレタル商業工業農林等政府ノ直轄ニ屬スル各種高等專門學校ノ數ハ、實ニ少クナイノデアリマス

當時私ハ山陰道ノ地形上山林ニ富ミ且又古來牧畜農業ノ早ク開ケシ等ノ關係ヨリ、此地方ノ狀況ニ最モ適シタル高等農林學校ノ設立ヲ得テ、地方開發ノ一助ヲラシメントノ希望カラ、第十四議會ニ於テ山陰高等農林學校設立ノ建議案ヲ提出シマシタ處ガ、當時ノ政府委員ハ大ニ之ニ同意シ、本院亦幸ニ之ヲ容レ、全會一致ノ可決ヲ得タノデアリマス、然ルニ、其後農林學校ノ増設ニ際シ、鹿兒島ニハ之ヲ設ケラレマシタケレドモ、山陰道方面ニ向ッテハ未ダ何等ノ計畫ヲモ見マセン、是地方民ノ甚ダ遺憾トスル處デアリマス

最モ其當時聊カ議論ノアリマシタノハ、山陰道ハ如何ニモ農林學校ニ適シテ居ル、ケレドモ交通ガ不便ノ爲メ、他方面ヨリ生徒ノ入學スルニ不便デアアルト云フ一點デアリマシタ

然レドモ吾々ガ多年熱望シテ居リマシタ山陰鐵道モ、出雲今市ヨリ東部京阪地方トノ連絡既ニ完成シ、本月一日ヨリ開通ヲ見ルニ至リマシタカラ最早今日ニ於テハ以前ノ交通不便ト云フ如キ懸念ハ先ヅ消エ失セタノデアリマス

例ヘバ、松江ヲ朝五時ニ立チマスレバ、午後六時四十九分ニハ大阪ニ著クコトヲ得、又七時五十分松江ヲ立テバ、午後七時四十五分ニハ京都ニツカレルノデアリマス、其他播但線トモ連絡シテ東部山陽道ト直接交通ガデキルノデアアル、而シテ又東京ヲ午後三時過ギニ出發スレバ、翌日夕方ニハ松江ニ著ク得ルコト云フ有様デ、其間僅々二十數時間デアアル、之ヲ從來陸路三日乃至四日ヲ費シタルニ比スレバ、實ニ非常ナル差アル從來年末休會ニ際シテ、鳥取島根兩縣ヨリ選出ノ議員ノ如キハ、歸縣不可能ノ有様デアリマシタガ、今日以後ハ他地方ノ諸君ト同一ノ便宜ガ得ラレデア

千葉醫學專門學校	東京高等工業學校	東京外國語學校	東京美術學校	東京音樂學校	東京聾啞學校	東京盲學校
千葉縣千葉町	東京市	同	同	同	同	同
計						
一二						

希望シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナシレバ恒松君ノ訂正ノ通り決定シマス、日程第十四、丹後鐵道建設ニ關スル建議案、岡田泰藏君

第十四

丹後鐵道建設ニ關スル建議案（岡田泰藏君外六名提出）

丹後鐵道建設ニ關スル建議案

京都府下舞鶴ヨリ宮津ヲ經テ城崎ニ達スル鐵道ヲ速ニ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○岡田泰藏君 此席カラ簡單ニ申シマス、此丹後鐵道デアリマスガ、是ハ鄰國但馬城崎ヨリ出雲ニ繋リマシテ、尙東ノ方ハ越後カラ流レテ敦賀ヘ參ッテ居ル、本年ハ敦賀カラ新舞鶴ニ達スル間ハ工事ニ著手が出來ルコトニナッテ居ルカラ、殘ル所ハ此日本海面中央地帯ノ海岸線デ、丹後ヲ貫通スル鐵道ガデアリマス、之ニ依ッテ日本海面ノ中央地帯ノ海岸線ヲ悉ク新設ヲ見ル狀態ニナルデアリマス、ドウカ此鐵道モ敦賀新舞鶴間ノ鐵道ノ竣成ト同時ニ此丹後ヲ通ズル鐵道モ竣成ヲ見ルヤウニシタイト云フデアリマス、是ハ當局ニ於テモ、亦鐵道院ニ於テモ、必要ト認メラレテ居ルデアリマスカラ、此建議ヲ可決セラレンコトヲ望ミマス

○恒松隆慶君 本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 恒松君ノ動議ノ通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ議長指名九名ノ委員ニ付託シマス、次ハ日程第十五、紀勢鐵道建設ニ關スル建議案、千田軍之助君

第十五

紀勢鐵道建設ニ關スル建議案（千田軍之助君外七名提出）

紀勢鐵道建設ニ關スル建議案

一和歌山縣下和歌山ヨリ同縣下黒江、日方、湯淺、御坊、田邊、新宮、三重縣下

木本、尾鷲、長島ニ郷ヲ經テ同縣下松阪ニ至ル鐵道
右鐵道ハ産業ノ發展ニ資シ交通ノ不備ヲ補フカ爲急設ヲ要スルモノト認ムルヲ以テ政府ハ速ニ鐵道敷設法ヲ改正シ本線ノ建設ニ著手アラムコトヲ望ム

右建議ス
○山口熊野君 私ガ提出者ニ代ッテ簡單ニ申上ゲマス、此鐵道ハ前來展現レタ建議案デアリマスカラ、茲ニ之ヲ私ガ蛇足ヲ添ヘル必要アリマセヌ、前同ニ於テ中村君カラ詳シク理由ヲ述べ、又前々同ニ於テ千田君ガ之ヲ審ニシテ居リマス、即チ和歌山縣下和歌山ヨリ同縣黒江、日方、湯淺、御坊、田邊、新宮、三重縣下木本、尾鷲、長島、二郷ヲ經テ同縣下松阪ニ到ル鐵道デアリマス、之ヲ申シマスレバ國防上カラ申シマシテモ、又國運ノ發展ノ上カラ申シマシテモ、交通運搬ノ上ニ付キマシテモ、最も必要アル注意ヲ拂フベキ鐵道デアリマス、現ニ昨年政府ガ此事ニ注目セラレマシテ、踏査ヲ遂ゲ、實測ヲ遂ゲ、十分ナル調査ガ完了セラレタト云フコトヲ承知シテ居リマス、想フニ政府ガ此調査ノ結果ト致シマシテ、此鐵道ヲ敷設スルノ要ヲ認メ、更ニ此鐵道ノ漸次ニ有利

ナルコトヲ認メラレタコト、思ヒマス、故ニ速ニ此鐵道ノ敷設法ヲ改正セラレテ、成ルベク早ク本線ノ建設ニ著手セラレタイト云フ趣意デアリマス、此意味ニ於テ此建議案ヲ提出シタ次第デアリマス

○恒松隆慶君 本案ニ付キマシテハ前ノ十四ノ日程ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（大岡育造君） 恒松隆慶君ノ動議ニ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ本案ハ前ノ十四ノ日程ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ——日程第十六、朝鮮拓殖銀行設立ニ關スル建議案——提出者三浦覺一君

第十六 朝鮮拓殖銀行設立ニ關スル建議案（三浦覺一君提出）

朝鮮拓殖銀行設立ニ關スル建議案

由來朝鮮ノ貧弱ナル職トシテ生産事業ノ不振ニ基因セリ故ニ之ヲ救済セムト欲セハ須ク生産事業ノ振興ヲ圖ラサルヘカラス、生産事業ノ振興ヲ圖ラムト欲セハ須ク先ツ農業ノ改良發達ヲ謀ラサルヘカラス、農業ノ改良發達ヲ謀ルニ途ハ多ク之レアルヘシト雖モ荒廢セル池塘ノ復舊、新設ヲ速成セシメ併セテ水利事業ヲ完成シ以テ民力ノ涵養富力ノ増進ヲ計ルヨリ急務ナルハナシ而シテ其ノ之ヲ行ハシムルニハ政府ハ宜シク速ニ朝鮮總督ヲシテ特種銀行即チ恰モ母國ニ於ケル勸業銀行ノ如キ組織ノ金融機關ヲ設置シ以テ其ノ目的ヲ達セシムコトヲ望ム

右建議ス

〔三浦覺一君登壇〕

〔拍手起ル〕

○三浦覺一君 唯今日程ニ上リマシタ朝鮮拓殖銀行ヲ設立シテ貫ヒタイト云フ建議案デス、其說明ヲ致シタイト思ヒマスガ、一體朝鮮ヲ我帝國ニ併合致シマシタハ唯獨リ實利上ノ問題バカリデハゴザイマスマイガ、併合致シマシタ以上ハ朝鮮ノ國民ノ富力ヲ増進シ、而シテ又我帝國ノ人民ヲシテ移住セシメ、速ニ朝鮮ヲシテ此經濟上ノ發展ヲセシメテ、成ルベク母國ノ厄介ニナラヌヤウニ、朝鮮ハ成ルベク朝鮮ノ經濟ヲ以テ立ツヤウニセバナラス、臺灣ノ如ク、自分ノ經濟ヲ自分ノ國ガ賄ッテ往クト云フ風ニ一日モ早ク之ヲセバナラスノデアアル、併ナガラ朝鮮ハ御承知ノ通りニ、朝鮮人ハ誠ニ貧弱ニ致シテ、經濟思想ニ乏シイデアアル、此朝鮮人ガ然ラバ貧弱ニアルト云フハ、朝鮮ノ土地ガ一體ニ貧弱デアアルカト申セバ、決シテ土地ハ貧弱デハナイ、多年ノ間ノ惡政ト所謂暴吏ノ苛歛請求トニ依ッテ、此ノ如キモノニナッタデアリマシテ、朝鮮人自ラ貧弱デハナイデアリマス、朝鮮ハヤリヤウ次第ニ依ッテハ大ニ望ムアル土地デアアル、今日ノ如キ貧弱ナル處ニナッタト云フモノハ、寧ロ朝鮮人ガ勉強ヲ致シマシテ財產ヲ拵ヘ、若クハ人民ガ地位勢力ヲ得レバ、却テ之ヲ種デアアル金ヲ持ッタリ、財產ヲ拵ヘタリ、或ハ權力ヲ持ツヤウニナレバ、ソレガ却テ禍デアリマシテ、朝鮮人ガ其日暮シト云フノガ即チ今日朝鮮ヲシテ貧弱ナラシメタ原因デアッテ、決シテ朝鮮其モノガ富ラ成ストコロノ力ガナイト云フ譯デハナイデゴザイマス、故ニ朝鮮人ニ殖産興業ヲ丁寧ニ教ヘテヤッテ、サウシテ朝鮮ニ於ケル多年ノ間ノ惡政ヲ改良シテ、即チ善政ヲ布イテ、農業ナリ、工業ナリ、水産ナリ、森林事業ナリ、畜産ナリニ最も力ヲ入レテ朝鮮ノ富ヲ増スト云フコトニ努メタナラバ、必ズヤウナニ開ケ掛ラズシテ、母國ノ厄介ニナラズシテ、朝鮮ダケハ其國ノ經濟ヲ賄フコトガ出來ルト

云フコトニナル、是ハ唯算盤ヅクノ話ノヤウデアリマスガ、決シテサウデナイ、斯ウ云フ目的ニ是非サセネバ朝鮮ヲ併合シタル目的ハ何モ無クナッデシマフコトニナルデアアル、然ラバ其事業ノ上ニ於テ何ガ一番大切デアアルカト申セバ、朝鮮ニ於テハ農業ヲ改良發達セシムルガ一番大切デアアル、イロ／＼事業ハゴザイマセウガ、其中ニ於テ農業ニ力ヲ注イデアルト云フコトガ、一番大切デアアラウト思フノデゴザイマス、其又農業ヲ獎勵致スト云フコトニシテ、改良スルト云フコトニ付テノ方法手段ハ澤山ゴザイマセウ、或ハ種子ノ改良ヲヤル、或ハ耕地ノ整理ヲスルトカ、或ハ肥料ノ改良ヲスルトカ云ツテ、此農業ノ改良ヲスル事柄ニ於テハ種々ゴザイマセウケレドモ、其種類ノ中ニ就テ最も大切ナルモノヲ選ブノガ必要ナノデゴザイマシテ、其農業ノ改良發達ヲ圖ル種類ニ於テ何ガ一番急務デアアルカト申セバ、私ハ給水、即チ灌漑ト云フコトニ付テ力ヲ注イテ往クト云フコトガ一番大切ナルコト、信ズルデアリマス、此事柄ニ付テ全力ヲ注イテ朝鮮ノ今荒廢シテ居ルコロノ池塘、即チ内地申シマスル溜池デアリマス、若クハ河川ノ水ヲ引イテ田畑ニ注グトコロノ途ヲ講シテ、能ク整理ヲ致シテ往キマシタナラバ、必ズヤ今ノ收穫ヨリ澤山ノ増收ヲ見ルコトガ出來マスルノデゴザイマス、現ニ朝鮮ハ昔ニ於テハ既ニ三千ノ池塘ヲ有シテ居ッタノデス、李氏ノ時代ニ於テハ三千ノ池塘ヲ持ッテ居ッテ、能ク整ッテ居ッタデアアル、決シテ今日ノ荒廢シタル朝鮮デハナカッタデアアル、又水利ノ途モ能ク行ハレ、治水等ノ方法モ能ク備ッテ居ッタデアリマスケレドモ、前申上ケマス通り、惡政暴吏ノ苛斂誅求等ニ依ッテ、今日ノ如ク廢シテ德義心モナケレバ、公共心モナイ、自己一人ガ免三角活キテ暮ラセルト云フ根性カラ、今日ノ慘狀ヲ見ルニ至ッタデアリマスカラ、第一ニ其荒廢シテ居ルトコロノ池塘ヲ元ノ通りニシテヤル、而シテ尙モ河川等ニ堰ヲ拵ヘテ水ヲ其處ニ給シテヤルト云フ方法ヲ致シテ往キマシタナラバ、今日ノ農業ヲシテ今ノ收穫ヨリ現在ノ段別ニ於テ二百萬石位ノ増收ヲ見ルコトハ譯ガナイデアアル、而シテ又此水利治水ノ法ガ行ハレマシタナラバ、今ノ荒蕪地トナッテ居ル——昔ハ美田デアッテ今廢ッテ居ルコロノ荒蕪地ナドデ、美田トナリ、良田トナルモノガ、約一千二百五十萬町歩位デアリマス、此收穫ヲ見マスレバ若シ是ガ美田トナリ、元ノ如ク良田トナリマシタナラバ、一千萬石位ノ増收ヲ見ルコトガ出來ルデアリマス、サウ致シテ參リマスレバ是ガ——ソレモ何モ臨時ニ出來タノデハナイ、漸ク舊ニ復シテツレ位デアリマスカラ、ツレガ舊ニ復シタナラバ歲入ノ上ニ於テモ、一千五百萬圓位ノ歲入ヲ得ルコトハ易イデアリマス、一千五百萬圓ノ歲入ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ(「モウ宜カラウ」贊成)「呼フ者アリ」サウ云フト尙長ク言ヒマス(贊成)「ヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)大ニ母國ノ經濟ヲ助ケ、又朝鮮ヲ併合シタルトコロノ目的ニモ適フデアリマス、諸君ハ少シ位ノ時間ハ忍ビテ貰ヒタイ、私ハ眞面目ニヤツテ居ルノデス(「人數ガ足ラヌ」眞面目ニ聽イテ居リマス「謹聽々々」ト呼フ者アリ)故ニ左様ナル事業ヲ興サセラルニハ、私ガ提出致シマシタル如キ、即チ金融ノ機關ヲ設ケルヨリ外ニ仕方ガナイ、此低利資金ヲ貸ス金融機關ヲ拵ヘテ、サウシテ此前ニ申上ケマシタルヤウナル事業ヲ完成セシムルノ最も急務ナルヲ信ズルノデゴザイマスガ故ニ、ドウゾ滿場ノ御贊成ヲ得テ、此私ノ熱心ナル希望ガ、速ニ達シテ朝鮮ノ今申上ゲルヤウナ荒廢シタルコロノ池塘ガ舊ニ復シ、治水ノ水利ノ事業ガ起テ、今廢ッテ居ル荒蕪地ガ美田、良田トナッテ初メテ朝鮮ノ國民ガ併合サレタ日本ノ恩澤ニ浴シ、竝ニ我國ガ朝鮮ヲ併合シタル實ニ於テ副フヤウナ機會ニ達スルコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス、滿場ノ諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス、マダ申シタイコトガアリマスガ、是デ止メマス

○恆松隆慶君 此三浦君ノ熱心ナル建議案ハ、第七ノ日程、農工銀行法中改正法

律案ト云フ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御贊成ガ多クテ御異議ガアリマセヌカラ、恆松君ノ動議ノ如ク決シマシタ

○恆松隆慶君 此場合動議ヲ提出致シマス、見渡シマスニ議員ノ定數ヲ缺イテ居ルヤウデアリマスカラ、今日ハ是デ散會シ、アトノ日程ハ次回ノ會議ニ延バサレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌヤウデスカラ、今日ハ是ニテ散會、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時三十二分散會

衆議院議事速記録第三號正誤

頁 段 行 誤 正
一七 下 一二 互ニ表彰 互ニ協商

衆議院議事速記録第十六號正誤

頁	段	行	誤	正
二三	下	二一	海ノ上ノ	公海上ノ
同	同	二二	總テ禁止スル	必シモ禁止セ
同	同	三〇	其國ニ取ツテ	我國ニ取ツテ